令和８年度

ICT 化等機械装置等導入事業

（通称：畜産 ICT 事業）

「事業完了報告」、「支払請求」の手続きについて

資料１	ＩＣＴ化等機械装置等導入事業の手続きフロー（導入後）	１頁
資料２	機械装置の導入について（補助金の交付決定後）	３頁
資料３	「事業完了報告書」、「支払請求書」の提出に当たっての留意点	４頁
資料４	提出書類様式集	40 頁
資料５	コメント・記載例について	60 頁

この手順書について

- 本手順書は、ICT 化等機械装置等導入事業（畜産 ICT 事業）の交付決定以降の手続き（事業完了報告、支払請求等）を解説したものです。
- 機械装置導入後の速やかな補助金の支出をさせていただくため、ご一読の上、書類の作成等をお願いいたします。

○ 機械装置の導入は２月末までに完了

○ 応援会議からの支払請求は３月１５日までに提出

令和８年 11 月

公益社団法人中央畜産会

目　次

資料１　ＩＣＴ化等機械装置等導入事業の手続きフロー（導入後）・・・・　1

資料２　機械装置の導入について（補助金の交付決定後）・・・・・・・・・　3

資料３　「事業完了報告書」、「支払請求書」の提出に当たっての留意点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

【労働負担軽減経営体が作成・提出　→　畜産 ICT 応援会議（とりまとめ）】

Ⅰ　事業完了報告書（別添 13）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

１　作成・提出に当たっての注意・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

２　報告書作成に当たっての注意・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

（参考１）「８年度 ICT 化等機械装置等導入事業貼付用シール」の貼り方に関する留意点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

（参考２）本体以外に写真撮影及びシール貼付の必要な付属機器等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

（参考 3）導入した機械装置（本体・付属機器）の記録写真の撮影に関する留意点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

（参考４）事業完了報告に係る写真撮影参考例・・・・・・・・・・・・・　14

【畜産 ICT 応援会議が作成・提出→（都道府県窓口団体経由）中央畜産会】

Ⅱ　支払請求書（別添 14）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　38

１　作成・提出に当たっての注意・・・・・・・・・・・・・・・・・　38

２　請求書作成に当たっての注意・・・・・・・・・・・・・・・・・　38

資料４　提出書類様式集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　40

資料５　コメント・記載例について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　60

（参考５）ＩＣＴ化等機械装置等導入事業における成果検証の考え方について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　82

資料1

畜産ICT事業（ICT化等機械装置等導入事業）　手続きフロー（導入後）

中央畜産会（道府県畜産協会等経由）

①事業参加承認、交付決定の通知

⑤補助金支払い請求
（提出された後、速やかに提出）
＊最終期限：令和９年３月15日【必着】

○畜産ＩＣＴ応援会議の支払請求書　提出書類　確認表
○支払請求書（別添14）
①別紙１「支払請求書の提出内訳」
②別紙２「事前検証状況」
③労働負担軽減経営体の「みどりチェック」チェックシートの一覧
④労働負担軽減経営体からの「事業完了報告書（別添13）」及びその添付書類

※経営体毎、複数回に分けての提出も可

⑥支払額の確定通知、支払

リース事業者

※事業完了報告書及び支払請求書でリース事業者を指定した場合

畜産ＩＣＴ応援会議

②通知の連絡、導入支援

⇒交付決定後、事業着手可能に

④事業完了報告
（導入完了後、速やかに提出）
＊提出期限：会議が指定する日

○労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類　確認表
○事業完了報告書（別添13）
①リース契約書（写）
※購入の場合は購入契約書（写）
②借受書（写）
※購入の場合は納入書・請求書（写）
③貸付(購入)機械装置の詳細資料
④実施状況報告書
⑤納入当日に撮影した機械装置の全景写真
⑥製造番号等の確認が可能な写真
⑦「みどりチェック」チェックシート（畜産経営体向け）

⑦支払額の確定通知、支払

事業前の検証

労働負担軽減経営体
（乳用牛若しくは肉用牛を飼養する者）

③機械装置の導入（令和９年２月末日まで）

事業後の検証

労働負担軽減経営体
（乳用牛若しくは肉用牛を飼養する者）

⑧事業成果の検証実施・報告
・生乳需給安定クロスコンプライアンスに係るチェックシート

畜産ＩＣＴ応援会議

⑨事業成果報告
（期限：令和１０年６月３０日）

○事業成果報告書（別添10）
・成果報告（別添10－別紙１）
※購入方式の場合は導入機械装置管理状況報告書（別添10－別紙２）も添付
・「生乳需給安定クロスコンプライアンスに係るチェックシート」申請者一覧表

中央畜産会（道府県畜産協会等経由）

資料２

（補助金の交付決定後）機械装置の導入について

【畜産 ICT 応援会議は、】

中央畜産会からの「補助金の交付決定通知」を受領した後、別途承認を受けた「事業参加承認通知」に基づき、労働負担軽減経営体に連絡し機械装置の導入を推進して下さい。

【労働負担軽減経営体は、】

畜産 ICT 応援会議より補助金の交付決定を受けた旨の連絡を受けた後、承認を受けた「事業実施計画」及び「事業参加承認通知」に基づき、リース会社と以下の手順で機械装置の導入、契約等を進めて下さい。

手順１：リース契約の締結〔労働負担軽減経営体⇔リース会社〕

① 参加申請時に申込書を添付したリース会社とリース契約書を締結して下さい。
② 契約日は、中央畜産会からの「補助金の交付決定通知」及び「補助金の変更及び追加交付決定」を通知した日以降でお願いします。
③ リース会社と締結した「リース契約書（写し）」を事業完了報告書の添付書類として提出していただくことになります。

手順２：売買契約の締結〔リース会社⇒機械販売会社等〕

※ リース契約締結後、リース会社から販売会社に対して、事業参加承認を受けた機械装置を発注してもらって下さい。

手順３：機械装置の導入

※ 事業参加承認を受けた機械装置の導入を行って下さい。

手順４：借受書の提出〔労働負担軽減経営体⇒リース会社〕

① 労働負担軽減経営体に機械装置が導入完了しましたら、リース会社に対して「借受書」を提出して下さい。
② リース会社に対して提出した「借受書」の写し（借受日が記入され、押印してあるもの）を「事業完了報告書」の添付書類として提出していただくことになりますので、必ず写しをとるようにして下さい。

手順１から４までの機械装置の導入が完了しましたら、労働負担軽減経営体は「事業完了報告書」を畜産 ICT 応援会議に提出して下さい。

資料３

「事業完了報告書」、「支払請求書」の提出に当たっての留意点

書類提出時期：畜産 ICT 応援会議は機械装置の導入完了後、速やかに提出。
※令和９年３月 15 日（中央畜産会（道府県畜産協会））最終受付

Ⅰ　事業完了報告書

【労働負担軽減経営体が作成・提出 →
畜産ＩＣＴ応援会議（とりまとめ）】

1　作成・提出に当たっての注意

① 労働負担軽減経営体は、機械装置の導入が完了したら、事業完了報告書を作成し、畜産 ICT 応援会議に提出して下さい。
なお、応援会議が複数の経営体分をとりまとめて中央畜産会に提出する書類の最終提出期限は令和９年３月 15 日でありますので、実際は経営体の属する応援会議が設定している提出期限を確認の上、対応して下さい。

② 令和９年３月 15 日までに、応援会議を経由して中央畜産会に書類が提出されない場合は、補助金のお支払いができないこともありますのでご注意下さい。

③ 複数の労働負担軽減経営体や機械装置を導入する場合には、参加承認のあった労働負担軽減経営体や補助機械装置ごとに提出することも可能です。

2　報告書作成に当たっての注意

(1)　提出書類

A 労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類　確認表
（本手順書の 41～42 頁、61～62 頁参照）

B 事業完了報告書（別添１３）
（本手順書の 43～46 頁、63～67 頁参照）

(2)　添付資料

(A) リース契約書（写し）

① リース会社と締結したリース契約書の写しを提出して下さい。

② 事業参加承認申請書に添付したリース申込書の記載内容と異なる場合、補助金のお支払いができませんのでご注意下さい。
なお、「リース契約書（写し）」は、次の事項について確認を行いますので、確認できる写しを提出して下さい。

リース契約番号、契約日、契約者の住所・法人名称・氏名、機械装置の型式、数量、販売事業者等の名称、リース期間、機械装置の取得金額と補助金額、設置場所等

(B)　**借受書（写し）**

①　導入完了後にリース会社に提出した物件借受書の写しを提出して下さい。

②　事業参加承認通知書及び要望調査票（または参加申請書）提出時に添付した見積書（写）に記載された内容と異なる場合、補助金のお支払いができませんのでご注意下さい。

(C)　**貸付機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、型式及び台数）**

①　(B)の「借受書」及び(D)の「実施状況報告（対象機械装置の詳細報告）」を提出いただくことで、代用も可能とします。

②　上記で提出された書類から、事業参加承認通知書及び要望調査票（または参加申請書）提出時に添付した見積書（写）に記載された内容の納入が確認できない場合、別途、追加提出を求めることがありますので、留意して下さい。

(D)　**対象機械装置の導入報告書**

本報告書は、交付決定承認のあった導入計画により機械装置の設置完了の確認を行う報告書です。

具体的には、提出いただいた写真により本報告内容である型式、製造番号などを確認しておりますので、よろしくお願いします。

1　実施状況報告

項　　目	記　入　内　容
①畜産 ICT 応援会議名	所属する畜産 ICT 応援会議の正式名称
②労働負担軽減経営体名	事業参加申請書に記載された労働負担軽減経営体名を以下のとおり記入 ・ 個人経営の場合は、「組織名」は空欄とし、「代表者名」に「経営者氏名」を記載 ・ 法人経営の場合は、「組織名」に「法人名称」を、「代表者名」に「代表者氏名」を記載
③対象機械装置の名称	事業参加承認通知書の「機械装置の種類」の欄に記載された内容 搾乳ロボット、 ミルキングパーラー、 搾乳ユニット搬送レール自動、 搾乳ユニット搬送レール手動、 ミルカー自動離脱装置、 自動乳頭洗浄機、 自動給餌機（濃厚飼料）、 自動給餌機（濃厚・粗飼料）、

	餌寄せロボット、 自走式配餌車、 移動式ほ乳機 ほ乳ロボット、 ほ乳ロボット（レール式）、 発情発見装置 分娩監視装置 行動監視装置（繁殖管理） 行動監視装置（肥育管理） 行動監視装置（放牧管理） バーンスクレーパー、 敷料散布機、 のいずれかごとに記入
④製造メーカー名	事業参加申請書の製造メーカー名であり、販売事業者等ではないので注意
⑤型式	事業参加承認通知書の「規格・規模」記載の型式または型番を記入
⑥機械装置製造番号	必ず記入（ただし、販売事業者等にも確認し、当該番号が無い機械装置の場合は「なし（販売事業者確認済み）」と記入） ・ 本体と付属機器で構成する場合は、本体の製造番号を記入 ・ ミルカー自動離脱装置のように、複数の台数が納品されるような製品については、すべての製造番号を記入 ・ 発情発見装置のように、若干台数の受信機（親機）に対して、複数（頭数分）の発信子機（タグ等）が納品されるような製品については、親機の番号を記入
⑦販売事業者等の名称	販売業者等を記入
⑧対象機械装置の納入年月日	動作確認・検収が完了し、導入が完了した年月日を記入。 なお、リース契約している機械装置については、原則、物件借受書の検査完了日（リース開始日）、又は検収日を記入
⑨貸付番号	機械装置の「契約番号」、「協会の標示（リース番号）」、又は「貸付記号」等を記入
⑩所見 ・申請内容と相違ないか ・カタログどおりか ・新品であるか	➡「申請どおり」または「相違なし」と記入 ➡「カタログどおり」と記入 ➡「新品」と記入。ただし、中古物件を申請した場合は、「中古」と記入 ➡「良好」と記入

・試運転の結果どうか ・業者から取扱説明を受けたか	➡「受けた」と記入 ※　上記のように記入されていない導入報告書は、補助金を支払できない場合があります。 　また、上記のとおり記入していない報告、例えば、○×方式とかの記入報告にあっては、その○×の意味内容を再度確認照会することとなりますので、ご指導よろしくお願いします。

2　本事業で導入した機械装置の詳細

①　先に提出のあった参加申請書（別添９－別紙１）の別紙内容に準じて整理して下さい。

②　自走式配餌車など本体のみの導入の場合であっても、省　略せず、必ず提出して下さい。

③　製造番号のあるものは本体、付属機器に関わらず記載をお願いします。

(E)　**納入当日に撮影した機械装置の全景写真**

(F)　**製造番号等の確認が可能な写真**

提出された複数枚の写真と、要望した計画内容（見積書）、及び参加承認した内容（型式・数量等）、事業実施状況報告の内容（機械装置製造番号等）と照合し、計画どおり機械装置が導入したことを確認しております。この確認ができない場合は、支払ができない場合もあります。

このため、「導入した機械装置（本体・付属機器）の記録写真の撮影に関する留意点」（12 頁）を踏まえて、機械の納入当日又は設置した当日に、「８年度畜産 ICT 事業貼付用シール」（８頁参照）を貼り付け、写真撮影を行ってください。

写真の送付に当たっては、導入した全ての機械装置（本体・付属機器）について１台ごとに説明するつもりで必要な枚数の写真を送付して下さい。

写真が白黒の場合、内容が判別できない場合がありますので、必ず写真はカラー版にして提出して下さい。

(G)　**「みどりチェック」チェックシート（畜産経営体向け）**

事業完了報告書時に提出するチェックシートは、「事業名」「組織名」「代表者氏名」「住所」「連絡先」欄を記入し、右側にある「報告時（しました）」の欄にチェックし、「環境関係法令の遵守等」項目のすべての欄にチェックを行い、提出して下さい。

（参考１）

「８年度ＩＣＴ化等機械装置等導入事業貼付用シール」の貼り方に関する留意点

１　事業の実施を確認する貼付用シールについて

事業を完了した時は、補助対象の機械装置を事業で導入したことを証明する貼付用シール（以下「事業シール」という。）を目の付きやすい場所に貼付することになっていることから、次のことに留意して事業シールを貼付してください。

（実施要領別紙８の第 14 の（事業名等の表示）関連）

２　基本的な事業シールの貼付

（１）参加申請書の「補助対象機械の詳細」に記載した「**本体**」及び「**付属機器**」には原則、貼付して下さい。

ただし、本体に一体的に組み込まれている付属機器については本体のみに貼付し、また、装置の集合体（搾乳関係など）については、まとめて１か所に貼付して下さい。

（２）事業シールは、**型式や製造番号が記載されている銘板（プレート）と並べて**貼付して下さい。

（３）機械装置本体に付属する管理ソフトについては、ＣＤ等の媒体によりソフトが提供される場合は、ＣＤ等が包装されている箱（ケース）に貼付して下さい。

（４）高所に設置する機械装置等については**設置前**に貼付して下さい。

３　対象機械ごとの事業シールの貼付

（1）搾乳ロボット	①　製品番号等を掲示している付近に１枚貼付 ②　搾乳ロボットに一体的に組み込まれている機械装置は貼付不要 ③　２台導入の場合は、それぞれに１枚を貼付 ④　ただし、次の付属機器にも貼付 ※　個体識別ゲート、バッファタンク及び予冷装置、真空ポンプ、自動記録機器等 ⑤　管理ソフトを導入する場合は、ＣＤ等の箱（ケース）に貼付
（2）ミルキングパーラー	①　ミルキングパーラーは、いくつかの機械装置の集合体なので、それぞれの機械装置には貼付不要。ただし、付属機器がある場合はそれぞれの付属機器に貼付 ②　ミルキングパーラー（全体）の適当な箇所に１枚貼付 ③　ただし、次の付属機器にも貼付 ※　個体識別ゲート、授乳装置、バッファタンク及び予冷装置、フィードステーション、真空ポンプ、自　動記録機器等 ④　増設の場合は、増設部分のストール、離脱装置等に台数分貼付

	⑤　管理ソフトを導入する場合は、ＣＤ等の箱（ケース）に貼付
（３）搾乳ユニット搬送レール（自動、手動）	①　搬送レールは本体となっているので「搬送レール」に１枚貼付 （※　搬送レールに貼れない場合は、搬送レールの近くの壁等に貼付） ②　搾乳ユニット搬送レールで自動方式の場合は、自動搬送装置（キャリロボなど）１枚ずつ台数分貼付 ③　付属機器として搾乳ユニット、パイプライン等を導入している場合は全体の分として集乳室等の搾乳施設の見やすい場所に１枚貼付 （例） 自動：レール（１枚）＋搬送装置（台数分）＋その他付属機器一式（１枚） 手動：レール（１枚）＋その他付属機器一式（１枚）
（４）ミルカー自動離脱装置	①　自動離脱装置は１枚ずつ台数分貼付 ②　自動離脱装置のほかに付属機器を導入した場合は、③の「搾乳ユニット搬送レール」と同様に全体の分として集乳室等の搾乳施設の見やすい場所に１枚貼付
（５）自動乳頭洗浄機	・　製品番号等を掲示している付近に１枚貼付
（６）自動給餌機（濃厚飼料タイプ・濃厚・粗飼料タイプ）	①　自動給餌機本体に貼付 ②　レール走行式の場合はレールにも１枚貼付 ③　エレベーター、サイレージストッカー、コンベア等の付属機器にも貼付 ④　管理ソフトを導入する場合は、ＣＤ等の箱（ケース）に貼付
（７）ほ乳ロボット（レール式を含む）	①　ほ乳ロボット本体に貼付 ②　２台以上の導入の場合は、１台ごとに１枚を貼付 ③　カーフレール式の場合は、カーフレール本体に台数分貼付及びレールにも１枚貼付
（８）餌寄せロボット	①　製品番号等を掲示している付近に１枚貼付 ②　２台以上の導入の場合は、１台ごとに１枚を貼付 ③　充電器などには貼付不要
（９）稲わら細断機	・　製品番号等を掲示している付近に１枚貼付
(10) 自走式配餌車	①　製品番号等を掲示している付近に１枚貼付 ②　付属機器を導入の場合は、それぞれに１枚を貼付

(11)移動式ほ乳機	・　製品番号等を掲示している付近に１枚貼付
(12)発情発見装置	①　送受信器（ルーター及びゲートウェイを含む）及び監視カメラに台数分貼付 ②　タグ付きセンサー及び保定器具等には貼付不要 ③　管理ソフトを導入する場合はＣＤ等の箱（ケース）に貼付 （※　受信器、カメラ等の牛舎の高所に設置するものについては、設置する前に事業シールを貼ってください。）
(13)分娩監視装置	①　送受信器（ルーター及びゲートウェイを含む）及び監視カメラに台数分貼付 ②　タグ付きセンサー及び保定器具等には貼付不要 ③　管理ソフトを導入する場合はＣＤ等の箱（ケース）に貼付 （※　受信器、カメラ等の牛舎の高所に設置するものについては、設置する前に事業シールを貼ってください。）
(14)行動監視装置	①　送受信器（ルーター及びゲートウェイを含む）及び監視カメラに台数分貼付 ②　タグ付きセンサー及び保定器具等には貼付不要 ③　管理ソフトを導入する場合はＣＤ等の箱（ケース）に貼付 （※　受信器、カメラ等の牛舎の高所に設置するものについては、設置する前に事業シールを貼ってください。）
(15)バーンスクレーパー	①　スクレーパー本体（羽根の部分）ではなく、ドライブユニットに１枚ずつ台数分貼付 ②　動作時に剥がれにくい箇所、汚れない箇所に貼付
(16)敷料散布機	①　敷料散布機本体に貼付 ②　レール走行式の場合はレールにも１枚貼付 ③　エレベーター、ストッカー、コンベア等の付属機器にも貼付

（参考２）

本体以外に写真撮影及びシール貼付の必要な付属機器等

	必要な付属機器等の条件	付属の対象機器等
搾乳関係機械装置の付属機器		
○	導入する搾乳関係機械装置の能力を発揮させるために必要な付属機器	パイプラインミルカー、真空ポンプ、受乳装置、洗浄装置、真空発生装置、乳量データの自動記録装置、飼養管理ソフト、搾乳関係機械装置の管理ソフト
○	導入する搾乳関係機械装置の搾乳ユニット搬送レール（自動、手動）及びミルカー自動離脱装置の設置・稼働に不可欠な簡易な資材	パイプラインミルカー、配管径をサイズアップしたミルク配管、搾乳ユニットとの自動接続に適合するミルクタップ、レール吊下げ支持部材
○	搾乳ロボットやミルキングパーラーを導入する場合の高度化対応装置	個体識別ゲート、搾乳ロボット専用の予冷装置及びバッファタンク
飼料給与関係機械装置の付属機器		
○	自動給餌機（吊下レール式、トロリー式または地上レール式）を導入する場合において、飼料を調製・投入するための付帯装置	サイレージストッカー、サイレージエレベーター、ベルトコンベア、定置式ミキサー
○	導入する自動給餌機、自走式配餌車、及びほ乳ロボットの設置・稼働に不可欠な簡易な資材等	吊下レール、地上レール、トロリー吊下レール支持部材、管理ソフト
家畜飼養管理機械装置の付属機器		
	家畜飼養管理機械装置の稼働・管理に必要な資材等	管理ソフト
	導入する敷料散布機の設置・稼働に不可欠な簡易な資材等	走行レール、走行レール支持部材、敷料用ストッカー、ストッカー用エレベーター、管理ソフト

（参考３）

導入した機械装置（本体・付属機器）の記録写真の撮影に関する留意点

１　事業の完了報告において提出する記録写真について

畜産ＩＣＴ事業により導入した機械装置については、事業完了報告において機械装置の記録写真を提出することになっていますが、記録写真の不備が散見され追加写真の提出のために事業完了報告の確認（型式・数量・製造番号等）・審査が遅れ、補助金の支払事務に支障を来すことが発生している状況です。

そのため、記録写真の撮影については、事業完了時における記録写真の撮影の仕方を整理しましたので、次のことに留意して記録写真の撮影を行って、写真の提出をしてください。

（１）撮影範囲

導入した機械装置の検証写真については、参加申請の別紙「補助対象機械装置の詳細」の記載内容と照合できるよう、機械本体及び付属機器に事業シールを貼って撮影します。

※　事業シールの貼付方法については、「Ｉ事業シールの貼り方に関する留意点」（８～10 頁）を参照し、付属機器については可能な限り貼り付けてください。

（２）撮影方法

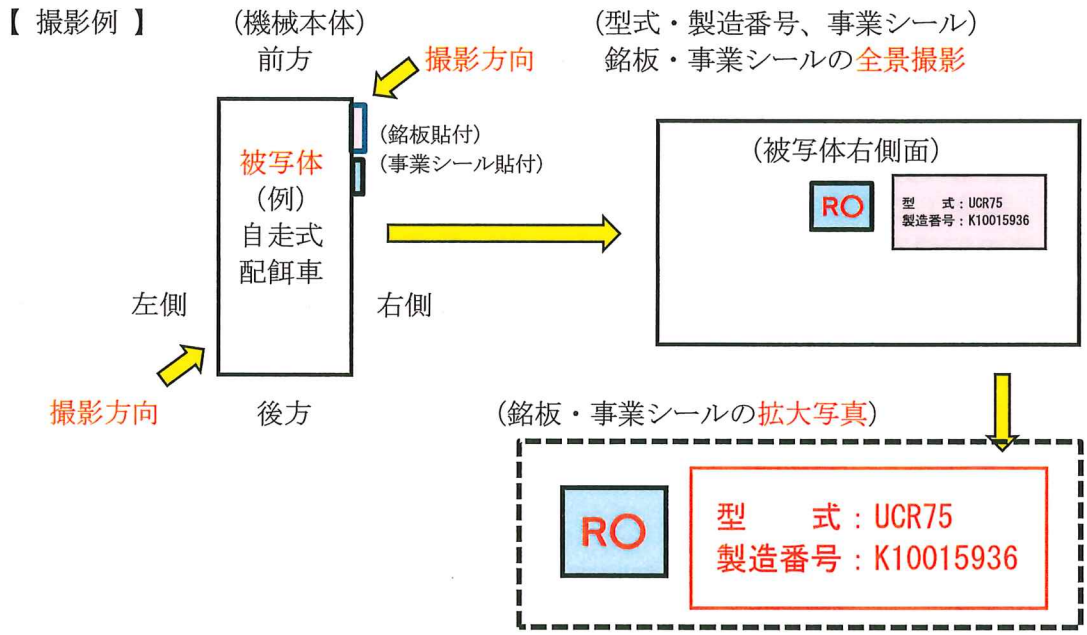
①　単体で作業ができる機械装置（例：餌寄せロボット、自走式配餌車等）

ａ　機械装置本体の撮影

- 写真は屋外（屋内は照明を準備）などの明るいところで撮影
- 写真は前後左右の四方面から全景を撮影
- 四方面撮影が難しい場合は、下図とおり前後の斜め二方面から撮影

ｂ　機械装置の型式・製造番号の銘板（ラベル）及び事業シールの撮影

- 機械の銘板（ラベル）、事業シールが貼付されている面の全景を撮影
- 銘板（ラベル）の記載内容が確認できるようクローズアップで撮影
- 写真はカラーで撮影して、カラーで提出して下さい。（白黒だと室内での写真は、背景と機械装置の判断ができないため、カラーで提出して下さい。）



② 施設に据え付けられる機械装置（搾乳ロボット、搾乳ユニット搬送レール等）

施設に据え付けられる機械装置については、施設に据え付けられた状態で前項①の撮影方法を基本として撮影し、機械本体とともに導入した全ての付属機器も同様に撮影してください。

a 複数セットの機械装置の撮影（搾乳ユニット搬送レール＋ミルカー自動離脱装置）

・ 施設に据え付けられた搾乳ユニット搬送レールのミルカー自動離脱装置の検証写真は、導入したミルカー自動離脱装置の全ての台数が確認できるように寄せて全景を撮影

b 機械装置本体と一体的に導入される複数の付属機器（タグ等）及びシステムソフトの撮影（発情発見装置等）

・ 施設内に点在して設置される機械装置等については、機械装置等の設置前（納品時）にそれぞれの機械装置（付属機器を含む）等を撮影

・ システムに付帯するタグ及びネックバンド等については、製品を一つずつ撮影するのではなく、全ての製品を並べた状態又は梱包箱のふたを開いた状態で納品数量が確認できるよう一括撮影するとともに、製品の一部を抽出して型式・製造番号が確認できる写真を撮影（※併せて型式・製造番号等の一覧を作成して提出）

・ 機械装置を制御するシステムソフトが附帯している場合、ＣＤ－ＲＯＭと説明書等を並べた状態の写真

・ システムソフトの現物がなくパソコン等にインストールされているものは、システムを立ち上げたディスプレイ画面の写真

（参考４）

事業完了報告に係る写真撮影参考例

（１）搾乳関係機械装置

・搾乳ロボット（フリーストール用）　・・・・・・・・・・・・・・・・・　15
・ミルキングパーラー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16
・搾乳ユニット搬送レール（ミルカー自動離脱装置付き）　・・・・・・　17
・自動乳頭洗浄機　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19

（２）飼料給与関係機械装置

・自動給餌機（吊下げ式）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20
・ほ乳ロボット（据置式）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　21
・ほ乳ロボット（レール式）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　22
・餌寄せロボット　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　24
・自走式配餌車　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　25

（３）家畜飼養管理機械装置

・発情発見装置（首タグ）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　26
・発情発見装置（足タグ）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　28
・分娩監視装置（監視カメラタイプ）　・・・・・・・・・・・・・・・・・　30
・分娩監視装置（体温測定タイプ）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　32
・バーンスクレーパー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　33
・敷料散布機　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　35

・写真撮影の留意点はＰ１２～１３を、
台紙はＰ５９を参照してください

【搾乳ロボット（フリーストール用）】

事　業　名：　令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇事業）
応援会議名：　〇〇〇〇畜産クラスター協議会
経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　搾乳ロボット（型式：VMS　V300　製造番号：JH-802474860001-TU）

見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【本体（左側）】



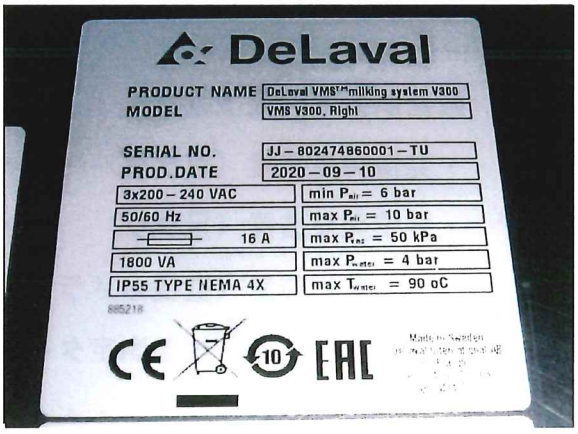
【本体（右側）】



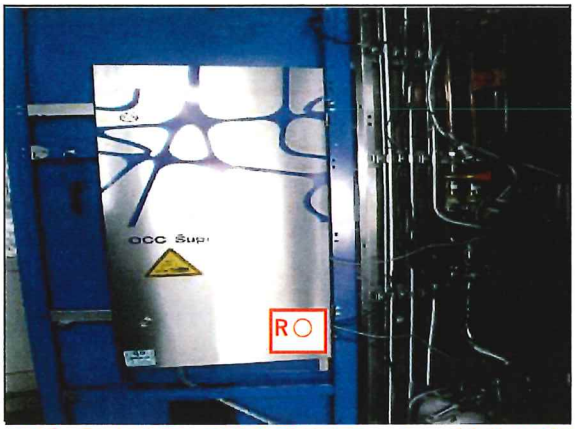
【本体（搾乳ボックス）】



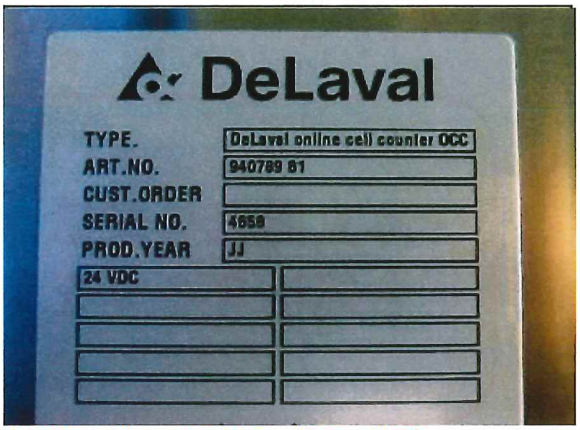
【本体製造番号：JH-802474860001-TU】



【体細胞測定装置】



【体細胞測定装置（製造番号：4858）】



※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）、
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【ミルキングパーラー】

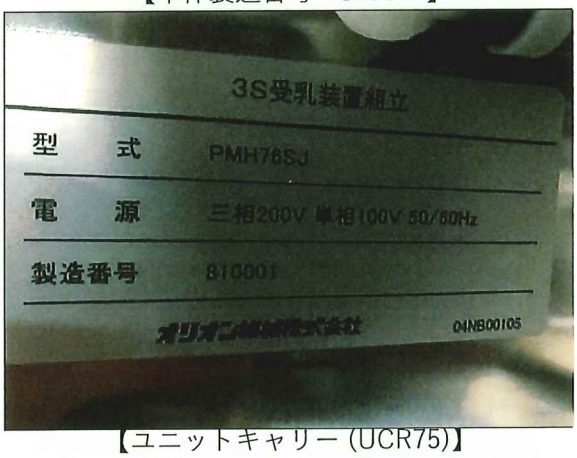
事　業　名：　令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）
応援会議名：　〇〇〇〇畜産クラスター協議会
経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　ミルキングパーラー（型式：PMH76SJ　製造番号：810001）

見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【本体（受乳装置 PMH76SJ）】



【本体製造番号：810001】



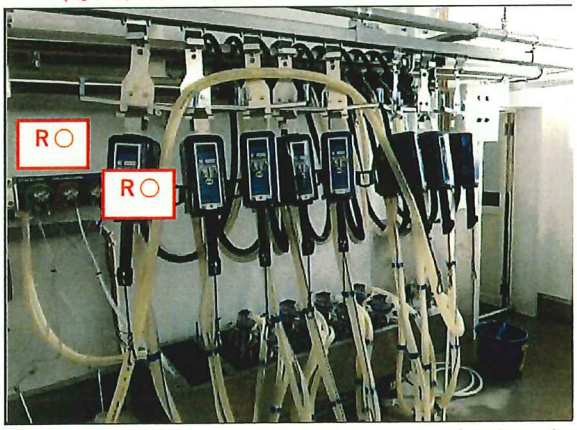
【本体（パーラーストール）】



【ユニットキャリー（UCR75）】
（製造番号：808005）



【自動離脱装置ユニット（OCR5000A）8台
(導入台数が確認できるよう寄せて撮影)



【自動離脱装置製造番号：0809013】
(導入台数分の写真を貼付)



※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【搾乳ユニット（ミルカー自動離脱装置付き）】

事　業　名：　令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）
応援会議名：　〇〇〇〇畜産クラスター協議会
経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　搾乳ユニット搬送レール手動（型式：UCA30A　製造番号：K19800009）
　　ミルカー自動離脱装置（型式：MMD500 G2　製造番号：別紙一覧のとおり）

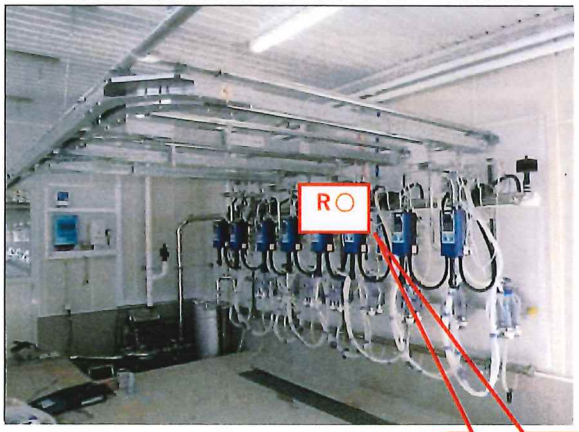
【搾乳ユニット搬送レール手動（UCA30A）】



【搬送レール（製造番号：K19800009】



【ミルカー自動離脱装置（MMD500 G）8台】
（導入台数が確認できるよう寄せて撮影）

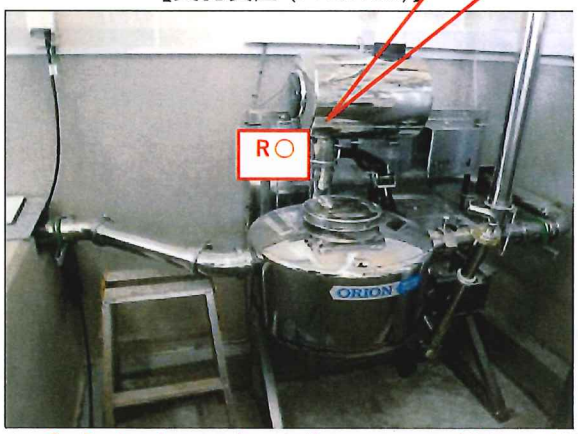


【自動離脱装置製造番号：12010005015011】
（導入台数分の写真を貼付）

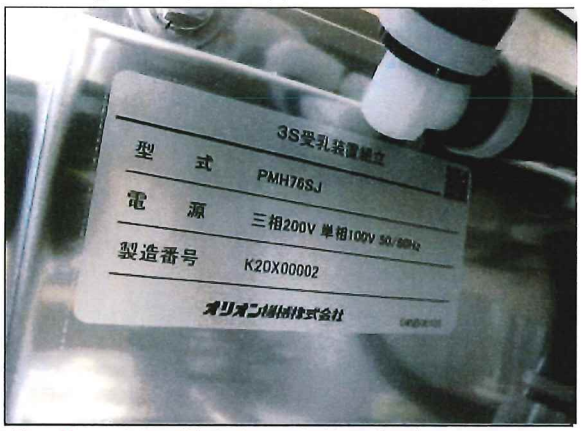


見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

【受乳装置（PHM76S)】



【受乳装置製造番号：K20X00002】



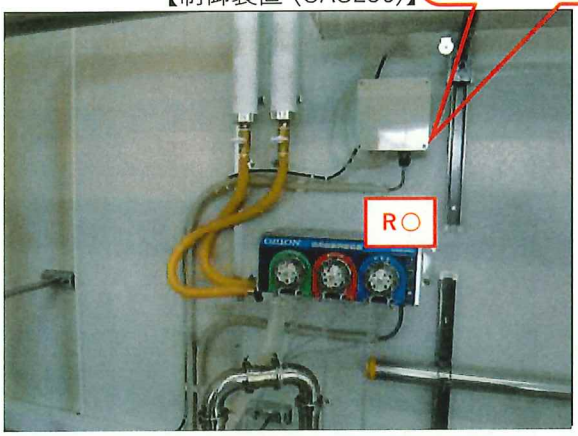
※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【搾乳ユニット（ミルカー自動離脱装置付き）】

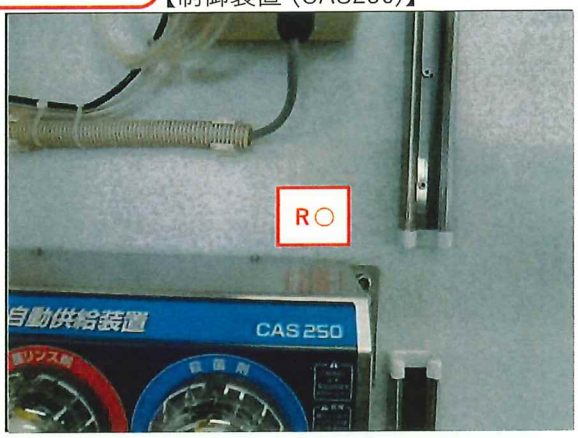
経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　搾乳ユニット搬送レール手動（型式：UCA30A　製造番号：K19800009）
　　ミルカー自動離脱装置（型式：MMD500 G2　製造番号：別紙一覧のとおり）

見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【制御装置（CAS250)】



【制御装置（CAS250)】



【洗浄装置制御盤】



【洗浄用電源装置】



【真空発生装置（OK-18HB)】



【真空発生装置製造番号：K2090DD18】



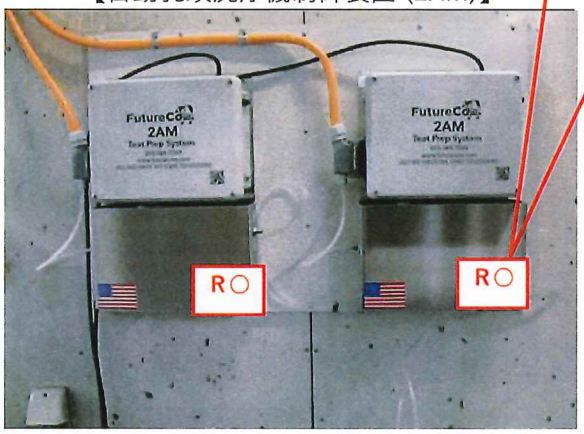
※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【自動乳頭洗浄機】

事　業　名：　令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）
応援会議名：　〇〇〇〇畜産クラスター協議会
経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　自動乳頭洗浄機（型式：2AM　製造番号：5233、5262）

見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【自動乳頭洗浄機制御装置 (2AM)】



【自動乳頭洗浄機 配置箇所】



【自動乳頭洗浄機 (本体)】



【自動乳頭洗浄機 (本体)】



【自動乳頭洗浄機 (製造番号：5233)】



【自動乳頭洗浄機 (製造番号：5262)】



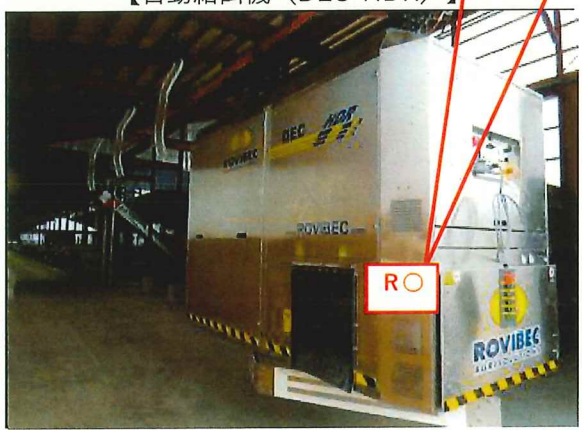
※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【自動給餌機（吊下げ式）】

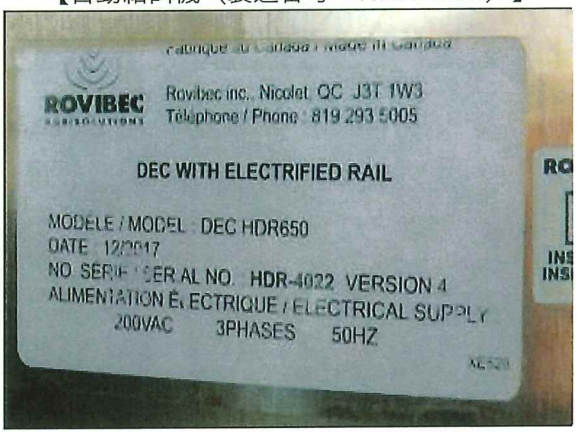
事　業　名：　令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）
応援会議名：　〇〇〇〇畜産クラスター協議会
経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　自動給餌機（型式：DEC-HDR　製造番号：HDR-4022）

見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【自動給餌機（DEC-HDR）】



【自動給餌機（製造番号：HDR-4022）】



【コントロールボックス】



【自動給餌機・コンベアー設置状況】



【コンベアー】



【コンベアー（製造番号：CD96-1152）】



※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【ほ乳ロボット（据置式）】

事　業　名：　令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）
応援会議名：　〇〇〇〇畜産クラスター協議会
経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　ほ乳ロボット（型式：ｶｰﾌﾌｨｰﾀﾞｰ・ﾊﾞﾘｵｽﾏｰﾄ　製造番号：10019883）

見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【ほ乳ロボット（ｶｰﾌﾌｨｰﾀﾞｰ・ﾊﾞﾘｵｽﾏｰﾄ）】



【ほ乳ロボット（製造番号：10019883）】



【ほ乳ステーション】



【ティート洗浄装置】



【ネックバンド　20本】
(導入本数が確認できる全景写真)



【識別タグ（個体識別番号）】
(他に導入個数が確認できる全景写真)

別途個体識別コード一覧表を作成・提出して下さい。



※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【ほ乳ロボット（レール式）】

事　業　名：　令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）
応援会議名：　〇〇〇〇畜産クラスター協議会
経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　ほ乳ロボット（型式：G2パウダー　製造番号：10019134）
　　カーフレール（型式：CRS2-1F1-WH　製造番号：10018607）

見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【ほ乳ロボット(G2パウダー)】



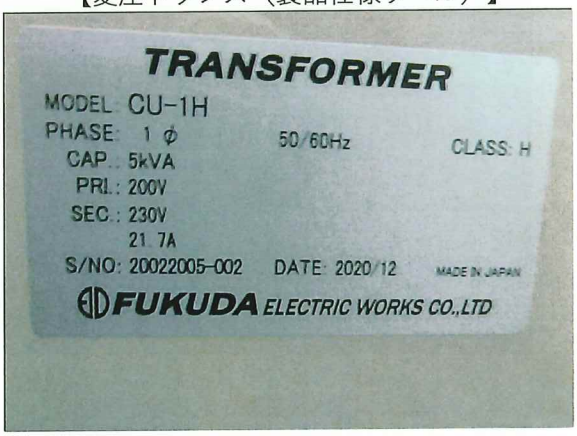
【ほ乳ロボット(製造番号：10019134)】



【変圧トランス】



【変圧トランス（製品仕様ラベル）】



【ホースヒーター（CRS2）】



【ホースヒーター（製品仕様ラベル）】



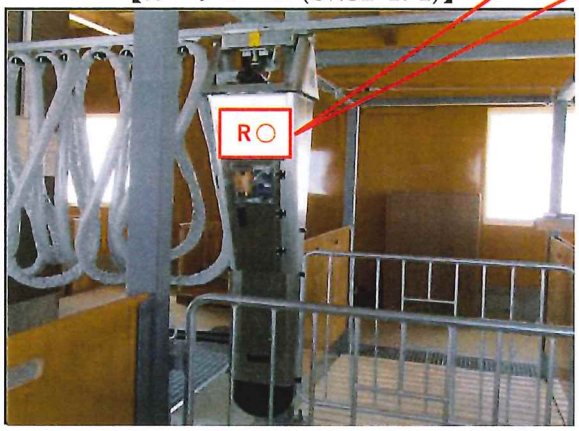
※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【ほ乳ロボット（レール式）】

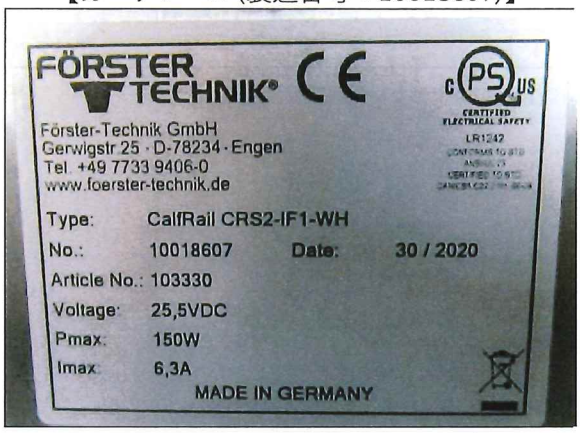
機械装置名：　ほ乳ロボット（型式：G2パウダー　製造番号：10019134）
カーフレール（型式：CRS2-1F1-WH　製造番号：10018607）

見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

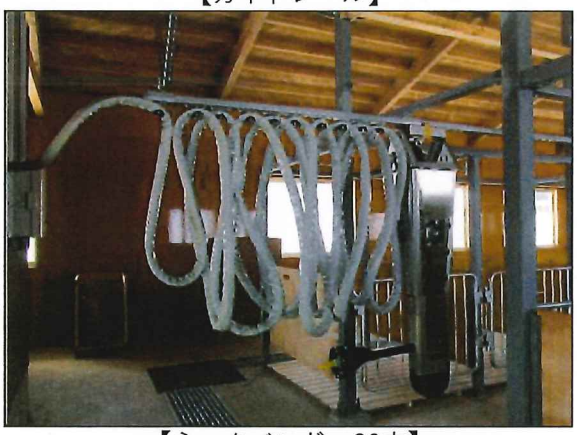
【カーフレール(CRS2-1F1)】



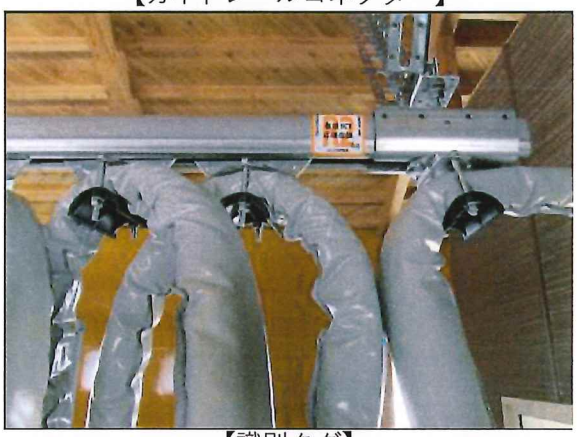
【カーフレール(製造番号：10018607)】



【ガイドレール】



【ガイドレールコネクター】



【ネックバンド　20本】
(導入本数が確認できる全景写真)



【識別タグ】
(他に導入個数が確認できる全景写真)



別途個体識別コード一覧表を作成・提出して下さい。

※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【餌寄せロボット】

事　業　名：　令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）
応援会議名：　〇〇〇〇畜産クラスター協議会
経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　餌寄せロボット（型式：JUNO　製造番号：0003274495）

見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

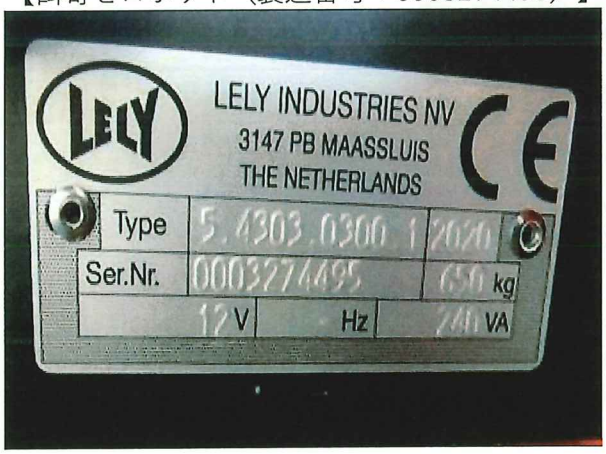
【餌寄せロボット（JUNO）】



【餌寄せロボット（JUNO）】



【餌寄せロボット（製造番号：0003274495）】



【餌寄せロボット（事業ラベル）】



【　　】

写真張付け位置

【　　】

写真張付け位置

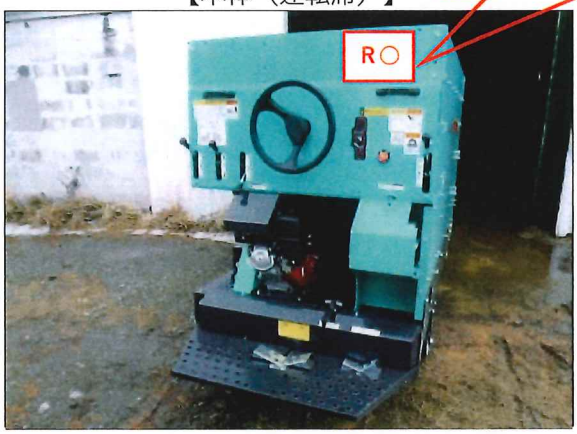
※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【自走式配餌車】

事　業　名：　令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）
応援会議名：　〇〇〇〇畜産クラスター協議会
経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　自走式配餌車（型式：EF2630　製造番号：100234）

見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【本体（運転席）】



【本体正面】



【本体右側】



【本体左側】



【自走式配餌車（製造番号：100234）】



【　　】

写真張付け位置

※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【発情発見装置（首タグ）】

事　業　名：　令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）
応援会議名：　〇〇〇〇畜産クラスター協議会
経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　発情発見装置（型式：Semex　ai24　製造番号：LN27　G　0009）

見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【発情発見装置（Semex　ai24）】



【発情発見装置（製造番号：LN27 G 0009）】



【アンテナ受信機】
(他に各箇所の設置位置が確認できる全景写真)



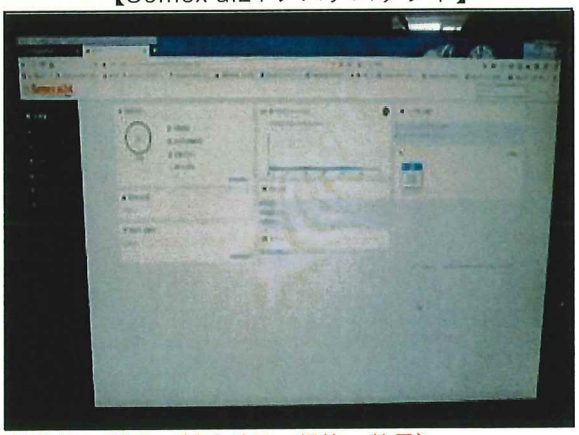
【アンテナ受信機（製造番号：L712C 0001）】



【アンテナ（CXL 900-1LW/m）】



【Semex ai24 システムソフト】



※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【発情発見装置（首タグ）】

経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名：　発情発見装置（型式：Semex　ai24　製造番号：LN27　G　0009）

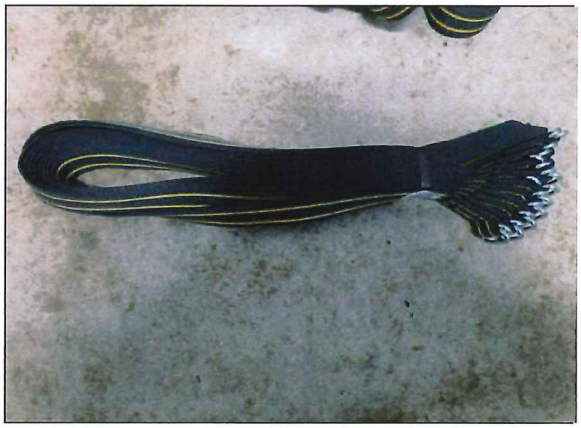
【ネックタグ用ベルト（10本/束×11束）】

（導入本数が確認できる全景写真）



【ネックタグ用ベルト（10本/束）】

（1束の本数が明瞭に確認できる写真）



【識別タグ（10個入/箱×11箱）】

（全箱を開封して並べた全景写真を撮影）



【識別タグ（10個入/箱）】



【個体識別タグ（識別番号別紙のとおり）】



【　　】

別途個体識別コード一覧表作成

写真張付け位置

※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

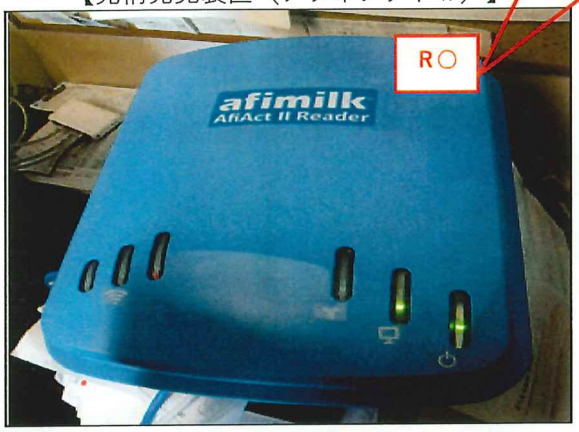
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【発情発見装置（足タグ）】

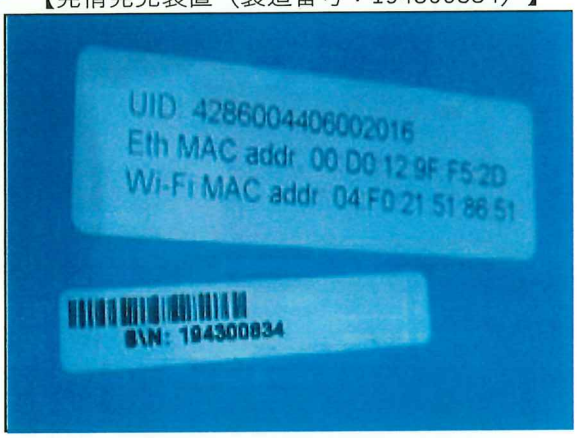
事　業　名：　令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）
応援会議名：　〇〇〇〇畜産クラスター協議会
経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　発情発見装置（型式：アフィアクトⅡ　製造番号：194300834）

見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

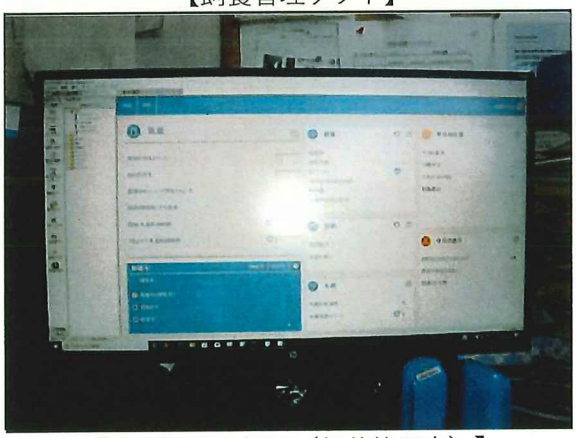
【発情発見装置（アフィアクトⅡ）】



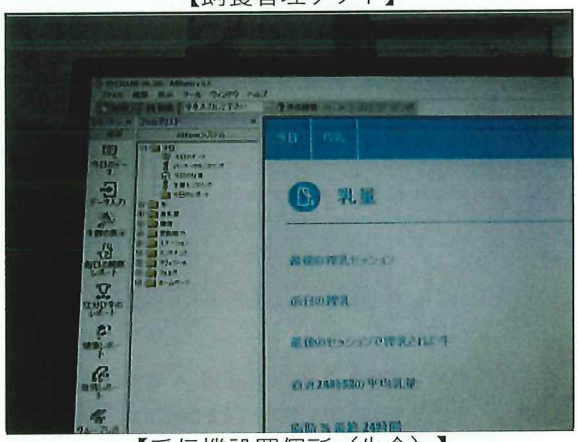
【発情発見装置（製造番号：194300834）】



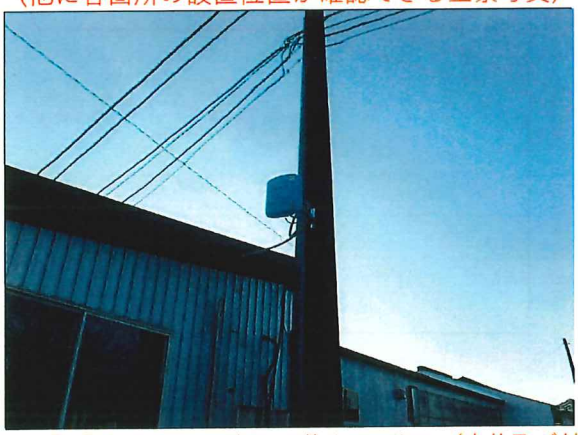
【飼養管理ソフト】



【飼養管理ソフト】



【受信機設置個所（飼養管理室）】
(他に各箇所の設置位置が確認できる全景写真)



【受信機設置個所（牛舎）】
(他に各箇所の設置位置が確認できる全景写真)



※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【発情発見装置（足タグ）】

経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　発情発見装置（型式：Semex　ai24　製造番号：LN27　G　0009）

【アフィタグⅡ（足タグ）1箱／20個入】

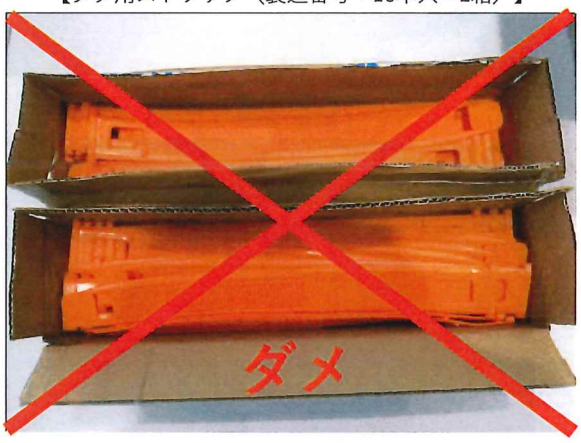


中身を取出し本数が明確に
に確認できる写真を貼付

【アフィタグⅡ（足タグ）】



【タグ用ストラップ（製造番号：10本入×2箱）】



【足タグ（製造番号：4087900-6333-35202）】



【　　】

別途個体識別コード一覧表作成

写真張付け位置

※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【分娩監視装置（監視カメラタイプ）】

事　業　名：　令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）
応援会議名：　〇〇〇〇畜産クラスター協議会
経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　分娩監視装置（型式：AUR-PTZCAM　製造番号：ACEJ-004182-SZCBD）

見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

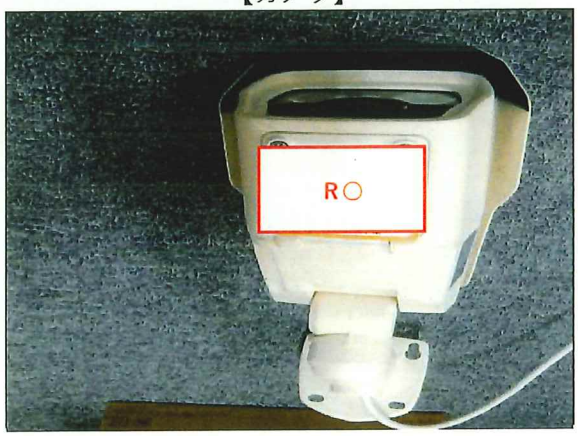
【監視カメラ（AUR-PTZCAM）】



【カメラ（製造番号：ACEJ-004182-SZCBD）】



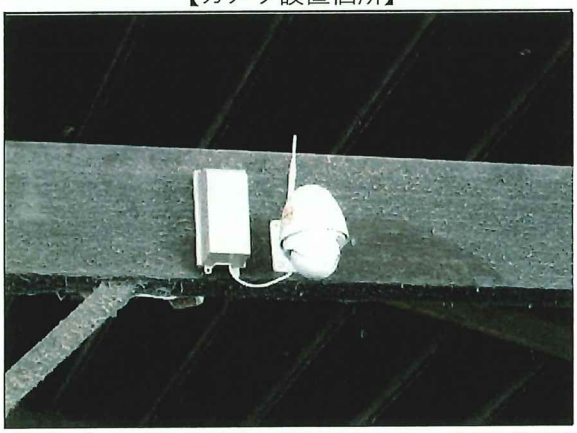
【カメラ】



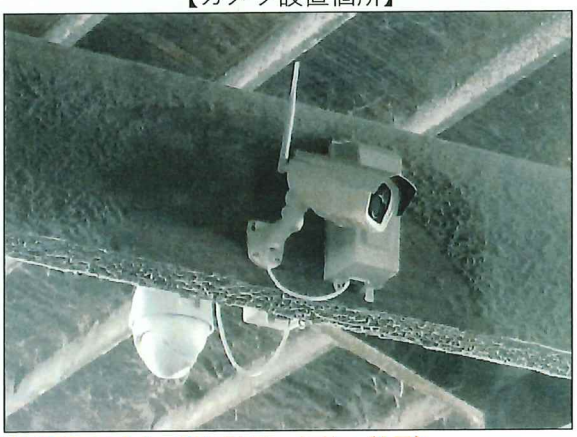
【カメラ（製造番号：ACEJ-004020-LHFSL）】



【カメラ設置個所】



【カメラ設置個所】



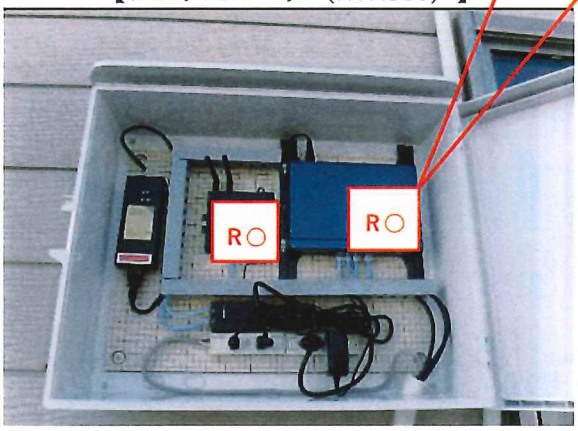
※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【分娩監視装置（監視カメラタイプ）】

経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　分娩監視装置（型式：AUR-PTZCAM　製造番号：ACEJ-004182-SZCBD）

見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

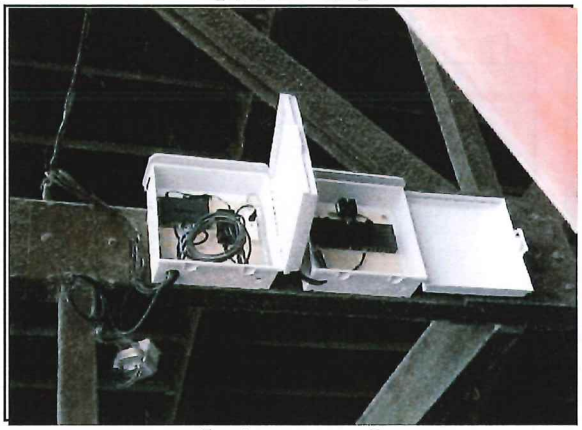
【システムルータ（RTX830）】



【システムルータ（製造番号：M5B050011）】



【中継ルータ】

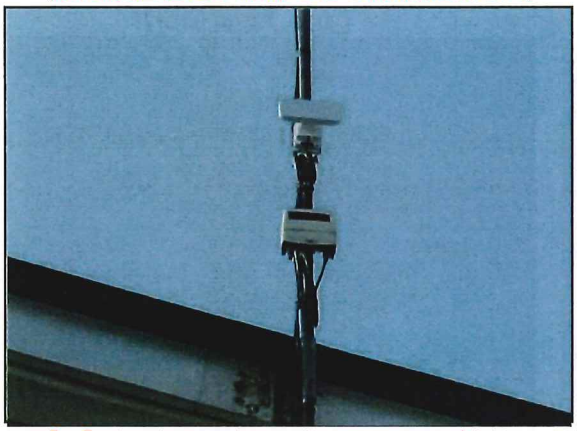


【中継ルータ（製造番号：BE500004025Q）】



【受信アンテナ】

(他に設置位置が確認できる施設全景写真)



【送信アンテナ】

(他に設置位置が確認できる施設全景写真)



※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【分娩監視装置（体温測定タイプ）】

事　業　名：　令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）
応援会議名：　〇〇〇〇畜産クラスター協議会
経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　分娩監視装置（型式：MD1109-MBW　製造番号：mbw03108em）

【分娩監視装置（親機・子機・体温センサー等】

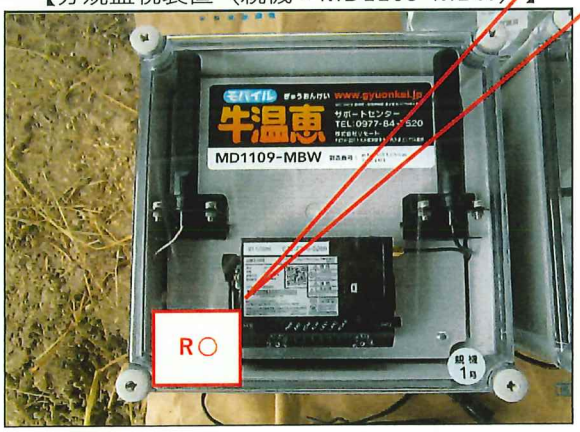


【６本爪ストッパー（４個）】



見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【分娩監視装置（親機：MD1109-MBW）】



【分娩監視装置（親機製造番号：mbw03108em）】



【分娩監視装置（子機：MD1109-MBK）】



【分娩監視装置（親機製造番号：mbk05772em）】



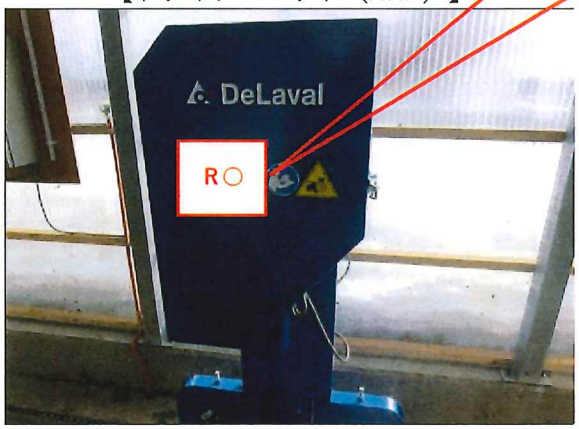
※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【バーンスクレーパー】

事　業　名：　令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）
応援会議名：　〇〇〇〇畜産クラスター協議会
経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　バーンスクレーパー（型式：AKD　製造番号：31626）

見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

【ドライブユニット（AKD）】



【ドライブユニット（製造番号：31626）】



【モーター】



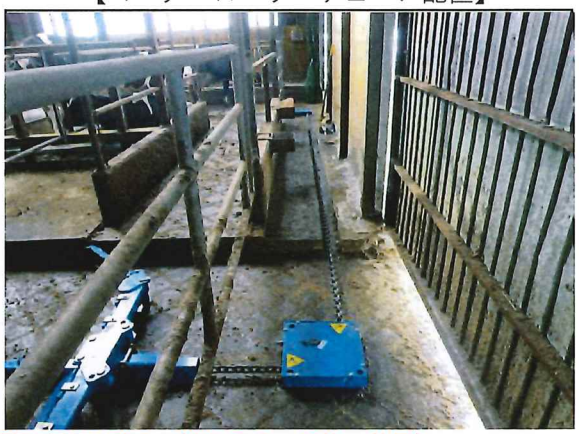
【モーター（製造番号：795-077）】



【コーナーローラ・チェーン配置】



【コーナーローラ・チェーン配置】

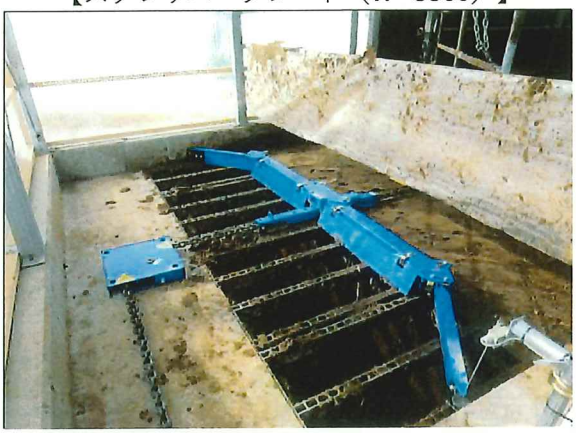


※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【バーンスクレーパー】

経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　バーンスクレーパー（型式：AKD　製造番号：31626）

【スクレッパーブレード（W=3500）】



【スクレッパーブレード（W=2400）】



【チェーンスクレッパー操作盤】



【操作盤キャビネット（製造番号：6L0907）】



【　　】

写真張付け位置

【　　】

写真張付け位置

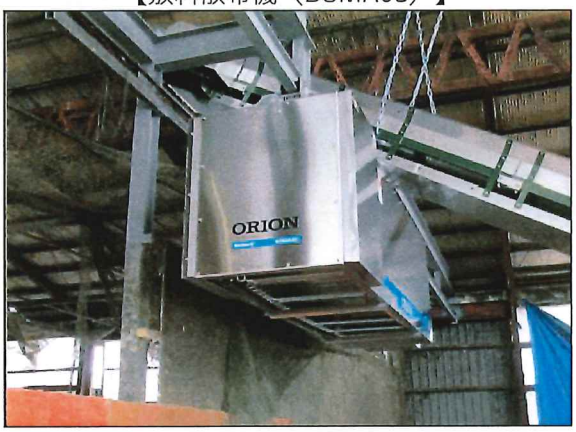
※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【敷料散布機】

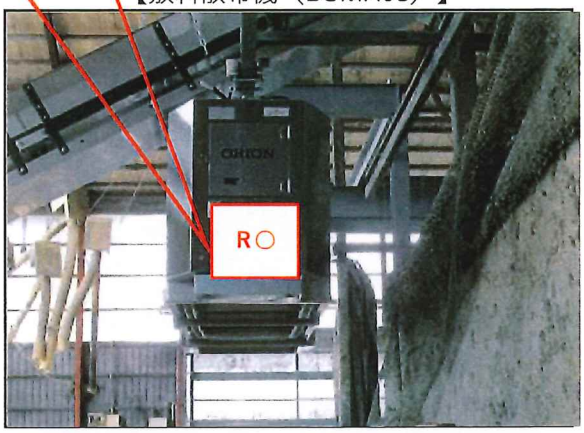
事　業　名：　令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）
応援会議名：　〇〇〇〇畜産クラスター協議会
経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　敷料散布機（型式：BSMA08　製造番号：020Z00003）

見やすい箇所に事業シールを貼付して全景写真を撮影
(可能な限り銘板付近に貼付)

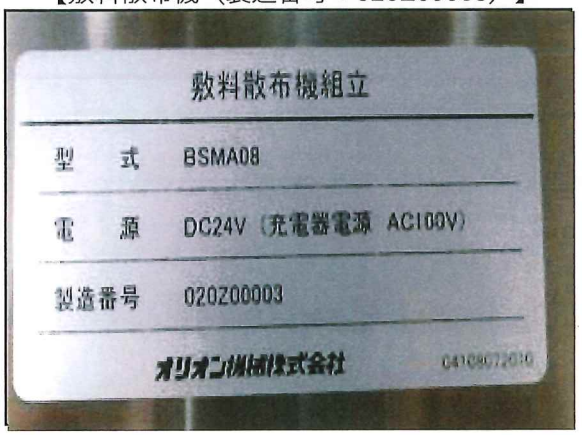
【敷料散布機（BSMA08）】



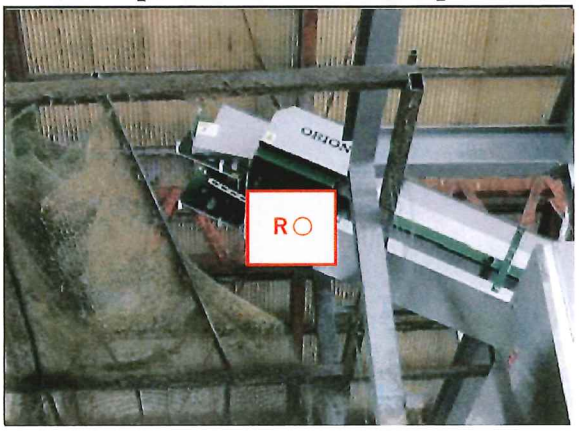
【敷料散布機（BSMA08）】



【敷料散布機（製造番号：020Z00003）】



【サイレージエレベーター】



【サイレージエレベーター】



【サイレージエレベーター（製造番号：020Z00003）】



※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

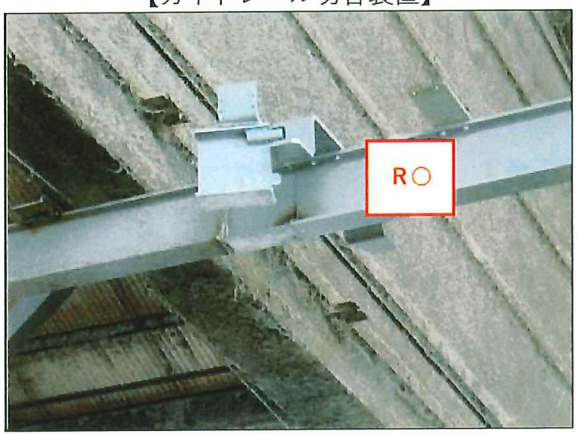
【敷料散布機】

経 営 体 名：　株式会社〇〇〇〇農場
機械装置名：　敷料散布機（型式：BSMA08　製造番号：020Z00003）

【ドグ（40個）】



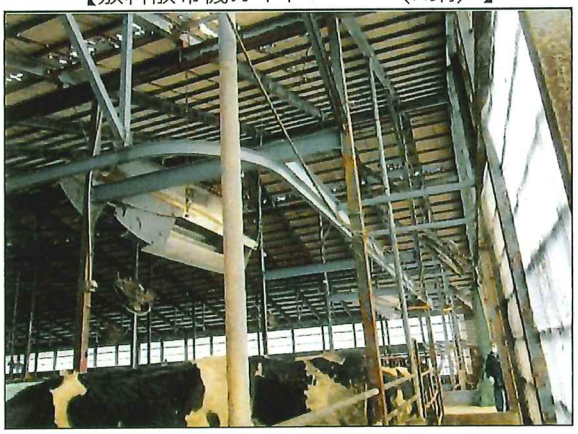
【ガイドレール切替装置】



【敷料散布機ガイドレール（H鋼）】



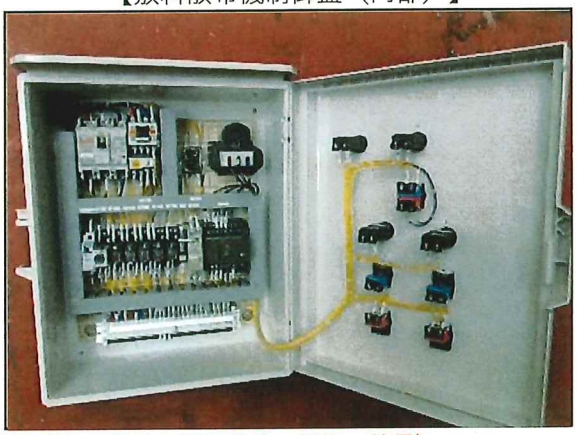
【敷料散布機ガイドレール（H鋼）】



【敷料散布機制御盤】



【敷料散布機制御盤（内部）】



※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

Ⅱ　支払請求書

【畜産 ICT 応援会議が作成・提出

→（都道府県窓口団体経由）中央畜産会】

1　作成・提出に当たっての注意

①　**畜産 ICT** 応援会議は、労働負担軽減経営体が作成した事業完了報告書の提出を受けたら、すみやかにその報告書をとりまとめ、支払請求書を作成し、都道府県窓口団体を経由して中央畜産会に提出して下さい。

②　書類の最終提出期限は令和８年３月 15 日です。これに遅れた場合は、補助金のお支払いができないことがありますのでご注意ください。

③　労働負担経営体ごと、あるいは、承認のあった補助対象機械装置ごとに提出することも可能です。書類の揃ったものから適宜ご提出下さい。

2　請求書作成に当たっての注意

(1)　提出書類

A　**支払請求書提出書類　確認表**　（本手順書の 47 頁、68 頁参照）

B　**支払請求書（別添１４）**　（本手順書の 48～51 頁、69～75 頁参照）

(2)　添付資料

i　**別紙１（別添１４添付用）「支払請求書の提出内訳」**

基本的には、交付決定した金額を確認する資料です。

なお、下段の請求内訳は、交付決定経営ごとに整理している応援会議がありますが、応援会議全体の進捗を管理する書類でありますので、交付決定を受けたすべての経営体を記入して下さい。

また、計画通りに行かないが完了報告書の提出のあった労働負担軽減経営体の場合は、交付決定の表の請求分、機械装置導入事業の請求内容については、実際の金額を記入して下さい。

ii　**別紙２（別添１４添付用）「事前検証状況」**

報告内容の「１日当たり総労働時間」は、注３にもありますように、(導入した機械に関係する分野の労働だけではなく、飼料生産等も含めた酪農に関する全ての労働に係る総労働時間)であり、１日当たりの総労働時間を報告して下さい。

なお、「事前検証状況」の提出がない場合は、労働時間の検証の確認ができないので、支払要件の確認ができませんので、「事前検証状況」は必ず添付し、支払請求書を提出して下さい。(**畜産 ICT** 応援会議は、事前検証のない支払請求書は提出しないでください。)

iii　労働負担軽減経営体の「みどりのチェック」チェックシートの一覧

労働負担軽減経営体からチェックシートの提出があった場合は、応援会議は、全ての回答・チェック欄の記入を確認し、保管してください。

そして、応援会議は、チェックシートの内容を確認できましたら、申請者一覧（別紙）を作成し、支払請求書に添付して提出して下さい。

iv　労働負担軽減経営体から報告のあった事業完了報告書

労働負担軽減経営体から報告された「事業完了報告書（別添１３、添付資料を含む）」を提出して下さい。

資料4

提出書類様式集　目次

シートNo.	手続区分	作成・提出者	様式番号等	様式名称	頁
経1	完了報告書関連	労働負担軽減経営体	労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類　確認表	リース方式での機械装置を導入した場合	41
経2				購入方式での機械装置を導入した場合	42
経3			別添13（第10の３の（1）関係）	事業完了報告書	43
経4			添付資料（別添13の２関係）	1　実施状況報告書 （対象機械装置の導入報告）	44
経5				2　本事業で導入した機械装置の詳細	45
経6			「みどりのチェック」チェックシート（畜産経営体向け）		46
会7	支払報告書関連	畜産ICT応援会議	支払請求書提出書類　確認表	（共通）	47
会8			別添14（第10の3の（2）関係）	支払請求書	48
会9			別紙1（別添14添付用）	支払請求書の提出内訳	49
会10			別紙2（別添14添付用）	事前検証状況	50
会11			労働負担軽減経営体の「みどりチェック」チェックシートの一覧		51
会12	成果報告書関連	畜産ICT応援会議	別添10（第9の1関係）	事業成果報告書	52
会13			別添10－別紙1（第9の1関係）	成果報告	53
会14			別添10－別紙2	導入機械装置管理状況報告（購入方式）	54
会15			生乳需給安定クロスコンプライアンスに係るチェックシート申請者一覧表		55
参考		経営体	「生乳需給安定クロスコンプライアンスに係るチェックシート」		56
会16		応援会議	別記様式	財産管理台帳	58
経17			機械装置の写真用台紙		59

リース方式での機械装置を導入した場合

畜産ICT応援会議に提出のあった年月日　　令和　　年　　月　　日

【畜産ICT事業】
労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類　確認表

提出書類が準備できたら、チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、
提出して下さい。

No	提出書類			確認欄
1	事業完了報告書		（別添13(第10の3の(1)関係)）	□
	添付資料	リース方式により機械装置を導入した場合		
2		①　貸付対象機械装置に係るリース契約書（写し）		□
3		②　貸付機械装置に係る借受証（写し）		□
4		③　貸付対象機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、形式及び台数）		□
5		④　実施状況報告書（対象機械装置の導入報告）		□
6		⑤　納入当日の撮影した機械装置の全景写真		□
7		⑥　製造番号等の確認が可能な写真		□
8		⑦　「みどりチェック」チェックシート（畜産経営体向け）		□
9	【確認事項】総労働時間の事前計測を行い、事前検証の結果を報告しましたか			□
10	AI・データに関する契約ガイドラインに準拠した契約を行った			□
	機械装置名		契約年月日	

必要な資料について、すべて確認表のチェックが終了しましたので、
完了報告書を提出します。

労働負担軽減経営体名（直筆署名でお願いします。）

購入方式での機械装置を導入した場合

畜産ICT応援会議に提出のあった月日　　令和　　年　　月　　日

【畜産ICT事業】
労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類　確認表

提出書類が準備できたら、チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、
提出して下さい。

No	提出書類			確認欄
1	事業完了報告書		（別添13(第10の3の(1)関係)）	□
	添付資料	（1）購入方式により機械装置を導入した場合		
2		①　対象機械装置に係る購入契約書（写し）		□
3		②　対象機械装置に係る納入書（写し）、請求書（写し）		□
4		③　対象機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、形式及び台数）		□
5		④　実施状況報告書（対象機械装置の導入報告）		□
6		⑤　納入当日の撮影した機械装置の全景写真		□
7		⑥　製造番号等の確認が可能な写真		□
8		⑦　「みどりチェック」チェックシート（畜産経営体向け）		□
9	【確認事項】総労働時間の事前計測を行い、事前検証の結果を報告しましたか			□
10	AI・データに関する契約ガイドラインに準拠した契約を行った			□
	機械装置名		契約年月日	

必要な資料について、すべて確認表のチェックが終了しましたので、
完了報告書を提出します。

労働負担軽減経営体名（直筆署名でお願いします。）

別添13（第10の３の（１）関係）

番　　号
年　月　日

畜産ICT応援会議代表　殿

所在地
法人名称又は氏名
（法人の場合 代表者名）

令和　年度ICT化等機械装置等導入事業　事業完了報告書

令和　年度において、令和　年　月　日付け　年度発中畜第　　号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業実施要領（平成28年１月20日付け27生畜第1621号農林水産省生産局長通知）別紙８の第10の３の（１）の規定に基づき、下記のとおり報告する。

記

１　事業の内容

対象機械装置名	数量	事業費	負担区分		備考
			補助金	その他	
計					

２　添付資料
（１）リース方式により機械装置を導入した場合
①　貸付対象機械装置に係るリース契約書（写し）
②　貸付対象機械装置に係る借受書（写し）
③　貸付対象機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、形式及び台数）
④　実施状況報告書（対象機械装置の導入報告）
⑤　納入当日に撮影した機械装置の全景写真
⑥　製造番号等の確認が可能な写真
⑦　「みどりチェック」チェックシート（畜産経営体向け）
（２）購入方式により機械装置を導入した場合
①　対象機械装置に係る購入に係る購入契約書（写し）
②　対象機械装置に係る購入に係る納入書（写し）、請求書（写し）
③　対象機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、型式及び台数）
④　実施状況報告書（対象機械装置の導入報告）
⑤　納入当日に撮影した機械装置の全景写真
⑥　製造番号等の確認が可能な写真
⑦　「みどりチェック」チェックシート（畜産経営体向け）

３　その他
（１）　請求額　　金　　円

（２）　振込先金融機関名
支店名
預金の種別
口座番号
預金の名義

添付資料様式（別添13の２関係）

対象機械装置の導入報告書

１　実施状況報告

<table>
<tr><td colspan="5">畜産ICT応援会議名：</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">労働負担軽減経営体名</td><td>組　織　名　：</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>代 表 者 名 ：</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">リース事業者　　※１</td><td>会　社　名　：</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">対象機械装置の名称</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">製造メーカー名</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">型　式</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">機械装置製造番号</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">販売事業者等の名称
※２</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">対象機械装置の納入年月日</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">貸付番号　　※３</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">導入場所</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">所見</td><td>申請内容と相違ないか</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>カタログどおりか</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>新品であるか</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>試運転の結果どうか</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>業者から取扱説明を受けたか</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>備考</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

※１購入方式の場合は、機械装置の販売事業者名を記載。

※２リース方式の場合はリース会社へ当該機械装置を販売した事業者名を記載、
　　購入方式の場合は記載しない。

※３購入方式の場合は、記載しない。

添付資料様式（別添13の2関係）

2　本事業で導入した機械装置の詳細

Ｎｏ ※１	本体・ 付属機器 別区分 ※３	新品・ 中古の 区分 ※４	機械装置 の種類 ※２※５	法定 耐用 年数 ※６	型式 ※７	製造番号 ※８	販　売 業者名	数量	機械価格 （税抜）	機械価格 （税込）	補助金額
	小計										
	小計										

※1　総括表の番号とあわせてください。

2　参加承認通知のあった機械ごとに記入して下さい。

「搾乳ロボット」、「ミルキングパーラー」、「搾乳ユニット搬送レール自動」、「搾乳ユニット搬送レール手動」、「ミルカー自動離脱装置」、「自動乳頭洗浄機」、「自動給餌機（濃厚飼料）」、「自動給餌機（濃厚・粗飼料）」、「ほ乳ロボット」、「餌寄せロボット」、「自走式配餌車」、「移動式ほ乳機」、「稲わら細断機」、「発情発見装置」、「分娩監視装置」、「行動監視装置（繁殖管理）」、「行動監視装置（肥育管理）」、「行動監視装置（放牧管理）」、「バーンスクレーパー」、「敷料散布機」のいずれかを記載。

3　「本体」または「付属機器」かを記載

4　新品は「１」を、中古は「２」を記載する。なお、中古の場合は残存期間が２年以上の場合が対象となる。

5　本体は２と同じ種類を記載。付属機器は、「飼養管理システム」、「真空発生装置」、「受乳装置」、「サイレージストッカー」、「サイレージエレベーター」、「サイレージコンベア」、「定置式ミキサー」、「吊下レール」等を記載。

6　新品の場合は残存年数が法定耐用年数となる。中古の場合は法定耐用年数から経過年数を差し引いた期間を記載する。

7　型式等を記入。

8　本体、付属機器に限らず、製造番号のあるものは可能な限り記載して下さい。
なお、発情発見装置や分娩監視装置の子機など数量が多いものは、別紙で製造番号リストを添付するようにして下さい。

「みどりチェック」 チェックシート（畜産経営体向け）

事業名		Ver. 3.1	
組織名			
代表者氏名		↓該当する方に○	
住所		申請時（します）	
連絡先		報告時（しました）	

解説書

・交付申請時に、全ての項目にチェックを入れ、事業実施期間中に各項目の内容に取り組んでください。
・実績報告時に、取り組んだ項目にチェックをして提出してください。
・各項目において、どのような取組を行えばよいか分からない場合は、解説書をご覧ください。
・※の記載内容に「該当しない」場合は□にチェックしてください。

チェック		環境関係法令の遵守等
□	①	みどりの食料システム戦略の理解
□	②	関係法令の遵守
□	③	GAP・HACCPについて可能な取組から実践
□	④	アニマルウェルフェアの考えに基づいた飼養管理の考え方を認識している
□	⑤	正しい知識に基づく作業安全に努める
□	⑥	※和牛生産を行っている場合（該当しない　□　） 家畜改良増殖法及び家畜遺伝資源に係る不正競争防止に関する法律の遵守
		悪臭及び害虫の発生防止
□	⑦	悪臭・害虫の発生防止・低減に努める
□	⑧	※飼養頭数が一定規模以上の場合（該当しない　□　） 家畜排せつ物の管理基準の遵守
		適正な施肥
□	⑨	※飼料生産を行う場合（該当しない　□　） 肥料の適正な保管
□	⑩	※飼料生産を行う場合（該当しない　□　） 肥料の使用状況等の記録・保存に努める
		適正な防除
□	⑪	※飼料生産を行う場合（該当しない　□　） 病害虫・雑草が発生しにくい生産条件の整備を検討
□	⑫	※飼料生産を行う場合（該当しない　□　） 農薬の適正な使用・保管
□	⑬	※飼料生産を行う場合（該当しない　□　） 農薬の使用状況等の記録・保存
		エネルギーの節減
□	⑭	畜舎内の照明、温度管理等施設・機械等の使用や導入に際して、不必要・非効率なエネルギー消費をしないように努める
		廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分、生物多様性への悪影響の防止
□	⑮	プラ等廃棄物の削減に努め、適正に処理
□	⑯	※特定事業場である場合（該当しない　□　） 排水処理に係る水質汚濁防止法の遵守

②関係法令の遵守について、対象は、肥料の品質の確保等に関する法律（昭和25年法律第127号）、農薬取締法（昭和23年法律第82号）、家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律（平成11年法律第112号）、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）、食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律（平成12年法律第116号）、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（平成７年法律第112号）、水質汚濁防止法（昭和45年法律第138号）、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）とする。

＜報告内容の確認と個人情報の取り扱いについて＞
・本チェックシートにて報告された内容については、農林水産省等が対象者を抽出し、実施状況の確認を行います。
・記入いただいた個人情報については、本チェックシートの実施状況確認のために農林水産省等で使用し、ご本人の同意がなければ第三者に提供することはありません。

上記について、確認しました →　□

【畜産ICT事業】

提出年月日（道府県協会提期限3月15日）　　年　　月　　日

畜産ICT事業　支払請求書　提出書類　確認表

提出書類が準備できたら、チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、提出して下さい。

No	提　出　書　類	チェック欄
1	支払請求書　（別添14）	□
2	支払請求書の提出内訳　別紙1（別添14添付用）	□
3	事前検証状況　別紙2（別添14添付用）	□
4	労働負担軽減経営体の「みどりチェック」チェックシートの一覧	□
5	事業完了報告書（写し）　（別添13）※添付資料を含む。 完了経営体数　：　戸数【支払請求書の（注）の3の（3）】	□

必要な資料がすべて準備でき、確認表のチェックが終了しましたので、実施計画書の承認申請書を提出します。

（畜産ICT応援会議名を記入してください。）

別添14（第10の３の（２）関係）

番　　号
年　月　日

公益社団法人中央畜産会会長　　殿

（畜産ICT応援会議）
所在地
団体名
代表者の役職及び氏名

令和　年度ICT化等機械装置等導入事業　支払請求書

令和　年度において、令和　年　月　日付け　年度発中畜第　　号（及び令和　年　月　日付け　年度発中畜第　　号）をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業実施要領（平成28年１月20日付27生畜第1621号農林水産省生産局長通知）別紙８の第10の３の（２）の規定に基づき、下記のとおり請求する。

記

１　請求額　　金　　円

区　　分	総事業費	国庫補助金	その他	備考
機械装置導入事業				
計				

２　振込先
金融機関名
支店名
預金の種別
口座番号
預金の名義

（注）１　計画承認の事業内容から変更がある場合には、計画承認を受けた計画書の変更箇所を加筆修正（変更前を上段括弧で二段書）した当該資料ページを添付して提出すること。

２　前記により、計画承認の事業内容から変更して交付申請書を提出する場合は、本文中の「令和　年　月　日付け　第　号で計画承認があった事業計画内容のとおり事業を実施したいので」を「令和　年　月　日付け　第　号で計画承認通知があった事業計画の一部を関係資料のとおり変更し事業を実施したいので」とすること。

３　申請の際には以下の書類を添付すること。なお、事業計画書に添付したものから変更がない場合は省略することができる。

（１）外部へ委託する場合は、委託契約書
（２）その他交付決定者が必要とする書類
（３）労働負担軽減経営体から申請のあった事業完了報告書一式（写し）
（４）労働負担軽減経営体から申請のあった支払請求書（写し）
（５）その他中央畜産会が求める書類

別紙１（別添14添付用）

支払請求書の提出内訳

畜産ICT応援会議名：

○交付決定

区　分	総事業費	補助金	既請求分		今回請求分		残額	
			総事業費	補助金	総事業費	補助金	総事業費	補助金
機械装置導入事業								
計								

○機械装置導入事業の請求内訳

経営体Ｎｏ ※１	労働負担軽減経営体名	機械装置		事業費全体			導入方式 ※３	支払先 ※４	振込先					備考 ※５		
		機　械装置名 ※２	数量	事業費（税抜）	事業費（税込）	補助金			金　融機関名	支店名	預金の種別	口座番号	預金の名義	既請求分対象者	今　回請求分対象者	残　額対象者
	計															

※１　労働負担軽減経営体ごとに採番する。

２　参加承認通知のあった機械ごとに記載することとし、「搾乳ロボット」、「ミルキングパーラー」、「搾乳ユニット搬送レール自動」、「搾乳ユニット搬送レール手動」、「ミルカー自動離脱装置」、「自動乳頭洗浄機」、「自動給餌機（濃厚飼料）」、「自動給餌機（濃厚・粗飼料）」、「ほ乳ロボット」、「餌寄せロボット」、「自走式配餌車」、「移動式ほ乳機」、「稲わら細断機」、「発情発見装置」、「分娩監視装置」、「行動監視装置（繁殖管理）」、「行動監視装置（肥育管理）」、「行動監視装置（放牧管理）」、「バーンスクレーパー」、「敷料散布機」のいずれかを記載。

３　「リース」又は「購入」を記載。

４　経営体からの支払請求書に記載された振込口座が経営体の口座の場合は「畜産ICT応援会議」、同じく契約したリース事業者の口座の場合は「リース事業者」と記載し、右にその口座名を記入する。

５　概算払請求の場合は、この欄を使用し、請求回ごとに対象者に○を付して下さい。

別紙２（別添14添付用）

事前検証状況

畜産ICT応援会議名：

No	労働負担軽減経営体（又は構成員）の名称（注１）	労働負担軽減経営体（又は構成員）の所在地	導入機械装置			検証における確認成果等							検証方法	備考（注５）
						機械導入前			機械導入後			１日当たり総労働時間の削減率（注４）		
			機械装置名	数量	機械価格（円、税抜）	経産牛頭　数	労働者数（注２）	１日当たり総労働時間（注３）	経産牛頭　数	労働者数	１日当たり総労働時間			
	会議計													

（注１）　成果目標において、労働時間削減の対象が労働負担軽減経営体とされている場合は労働負担軽減経営体のみを、畜産ICT応援会議全体とされている場合は全構成員を記入する。

（注２）　労働者数については、フルタイム労働者を１とし、パートタイム等については勤務時間の長さによって０～１の間の小数（第１位まで）を記入する。

（注３）労働時間は、導入した機械に関係する分野の労働だけではなく、飼料生産等も含めた酪農に関する全ての労働にかかる時間を記入する。

（注４）１日当たりの総労働時間削減率＝１－（機械導入後の１日あたり総労働時間÷機械導入前の１日あたり総労働時間）

（注５）　畜産ICT応援会議の中で、労働負担軽減経営体ごとに支払請求書が提出される場合には、備考欄に、労働負担軽減経営体の支払請求状況（今回請求分・既請求済分）を記入して下さい。

【添付資料】

労働負担軽減経営体の「みどりチェック」チェックシートの一覧

畜産ICT（楽酪）楽酪応援会議	
住所（都道府県）名	

No.	労働負担軽減経営体名	住所（都道府県）名	備考

別添10（第９の１関係）

番　　号
年　月　日

公益社団法人中央畜産会会長　　殿

（畜産ＩＣＴ応援会議）
所在地
団体名
代表者の役職及び氏名

令和　年度ＩＣＴ化等機械装置等導入事業
事業成果報告書

令和　年　月　日付け　年度発中畜第　　号で交付決定通知のあったＩＣＴ化等機械装置等導入事業について、畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業実施要領（平成28年１月20日付27生畜第1621号農林水産省生産局長通知）別紙８の第９の１の規定に基づき別紙（対象となる別紙の番号を記入）の「令和　　年度ＩＣＴ化等機械装置等導入事業成果報告」を別添のとおり報告します。

【添付書類】

（Ｉ）対象機械装置の導入がリース方式の場合
・別添10 － 別紙１

（１）対象機械装置の導入が購入方式の場合
・別添10 － 別紙１
・別添10 － 別紙２

（２）生乳需給安定クロスコンプライアンスに係るチェックシート申請者一覧表

別添10－別紙１（第９の１関係）

令和　年度　ICT化等機械装置等導入事業成果報告

畜産ICT応援会議名：	

No	労働負担軽減経営体（又は構成員）の名称	労働負担軽減経営体（又は構成員）の所在地	導入機械装置			検証における確認成果等							検証方法	備考
			機械装置名	数量	機械価格（円、税抜）	機械導入前			機械導入後			１日当たり総労働時間の削減率		
						経産牛頭数	労働者数	１日当たり総労働時間	経産牛頭数	労働者数	１日当たり総労働時間			
	会議計													

（注１）　成果目標において、労働時間削減の対象が労働負担軽減経営体とされている場合は労働負担軽減経営体のみを、畜産ICT応援会議全体とされている場合は全構成員を記入する。

（注２）　労働者数については、フルタイム労働者を１とし、パートタイム等については勤務時間の長さによって０～１の間の小数（第１位まで）を記入する。

（注３）　１日当たりの総労働時間削減率＝１－（機械導入後の１日あたり総労働時間÷機械導入前の１日あたり総労働時間）

別添10－別紙２

（元号）　年度ICT化等機械装置等導入事業　導入機械装置管理状況報告（購入方式）

畜産ICT応援会議名：

No	労働負担軽減経営体（管理主体）	機械装置の管理（設置）所在地	導入機械装置			処分制限期間			管理状況			備考
			機械装置等名	数量	機械価格（円、税抜）	導入年月日	法定耐用年数	処分制限年月日	稼働時間（一日当たり）	稼働日数（一月・一年当たり）	確認年月	

※１財産管理台帳から必要事項を記載。
※２管理状況は、畜産ICT応援会議が確認した直近の状況を記載。

□ ICT化等機械装置等導入事業（畜産ＩＣＴ事業）

□ 酪農経営支援総合対策事業（楽酪GO事業）

共通様式(成果時)

「生乳需給安定クロスコンプライアンスに係るチェックシート」報告者一覧

畜産ＩＣＴ/楽酪応援会議名：

報告者No.	1　申請者（酪農経営体）の情報							2　生産した生乳の取引先（注１）	3　確認事項への同意（注２）
	報　告 年月日	牛の個体識別システム 農家コード (10桁)	生産者氏名 (法人の場合は会社名)	郵便番号	住所	経産牛頭数 (頭)	対象月の全取引乳量 (kg)		

（注１）　チェックシートの２のでコ、サ、スでチェックしているものを記入してください。

（注２）　チェックシート３のセ及びソの両方ともチェックされている場合は「〇」とし、それ以外の場合は「✖（バツ）」と記入してください。

ICT化等機械装置等導入事業（畜産ＩＣＴ事業）
酪農労働省力化対策事業（楽酪GO事業）

共通様式(成果時)

生乳需給安定クロスコンプライアンスに係るチェックシート

本事業を要望する酪農経営体は、
① 「ア」～「ソ」までの回答・チェック欄を記入又はチェックをできましたら、
② 本チェックシートは酪農経営体が保管するとともに、
③ その写しを要望調査票の添付資料として応援会議に提出して下さい。

項　　目			回答・チェック欄
1　申請者（酪農経営体）の情報（各項目を記入して下さい。）			
	ア	成果報告年月日	
	イ	申請する補助事業名（畜産ＩＣＴ事業又は楽酪GO事業のどちらかにチェックして下さい。）	ICT事業　□ GO事業　□
	ウ	個体識別情報システムの農家コード （複数牧場がある場合は「、」で区切って全て記載）	
	エ	申請者名（法人の場合は法人名を記載）	
	オ	代表者の役職・氏名（上記と同様の場合は省略可）	
	カ	郵便番号	
	キ	住所	
	ク	経産牛飼養頭数（令和８年５月１日現在）	
	ケ	令和９年１２月分の全取引乳量 （本事業においては、成果報告期限が６月３０日となっているため）	
2　生産した生乳の取引先（該当するチェックボックスにチェックして下さい。）			
	コ	指定生乳生産者団体に全量又は一部を取引	□
	サ	指定生乳生産者団体以外の事業者に全量又は一部を取引	□
		シ　「サ」の場合、回答欄に取引先事業者名を記入 （複数ある場合は「、」で区切って全て記載して下さい。）	
	ス	自家加工等※に全量又は一部を使用 （※自家加工又は地域の六次産業化の取組、子牛哺育を指し、使用量は取引乳量には含めません。）	□
3　確認事項（チェックボックスにチェックをして下さい。）			
	セ	畜産局長が認定した生乳需給安定化事業に対して、当該事業の運営団体等が定める単価や拠出方法等に従い、令和８年１月から令和９年１２月までの期間の自らの全取引乳量に応じた拠出金の納付を行いました。 （本事業においては、成果報告期限が６月３０日となっているため）	□

ソ	**以下の（１）～（３）の内容について、同意します。**	□
	(1) 農林水産省等からの要求に対し、生乳の生産量、取引した数量及び経産牛飼養頭数が分かる資料、全ての取引乳量に基づき拠出金を納付していることが分かる伝票等を提出することに同意します。	
	[内容説明] 農林水産省や(独)農畜産業振興機構(同機構が実施する補助事業に限る。以下同じ。)、地方公共団体・団体・事業者であって生乳需給安定クロスコンプライアンスの運用上で必要な者からの求めがあった場合には、生乳の生産量、自ら取引した数量及び経産牛飼養頭数が分かる資料、全ての取引乳量に基づき拠出金を納付していることが分かる伝票(乳代精算書、領収書、請求書等)を提出することに同意します。	
	(2) 農林水産省及び生乳需給安定クロスコンプライアンスの対象補助事業の実施に携わる団体・事業者が、次の①から③を行うことに同意します。	
	① 本チェックシートで申告された情報を取得すること ② 生乳需給安定クロスコンプライアンスの実施に必要な範囲において本チェックシートで申告された情報を利用すること ③ 生乳需給安定化事業の運営団体等やこの団体等に拠出金の納付を行う生乳流通事業者及び関係団体に対して拠出金の納付実績の確認を目的として個人情報を提供すること	
	(3) 生乳需給安定クロスコンプライアンスの要件の違反があった場合には、補助金の返還を行う	

【応援会議のこのチェックシートに関する手続き】

① 応援会議は、チェックシートの提出があった場合は、全ての回答・チェック欄の記入を確認し、保管してください。

② 応援会議は、チェックシートの内容を確認できましたら、取りまとめ一覧表（別紙）を作成し、成果報告書に添付して提出して下さい。

（条文参考（チェック項目３のセの関連））

生乳需給安定クロスコンプライアンスの運用等について（抜粋）

制定 令和７年２月28日付６畜産第3109号
改正 令和７年12月24日付７畜産第2161号
改正 令和８年１月30日付７畜産第2428号

第４ 生乳需給安定クロスコンプライアンスの運用方法
（４）補助金交付決定後の拠出金の実績に係る要件及びその確認方法
ｉ） 施設整備や機械導入に係る対象補助事業については、その事業の性質に鑑み、申請を行った月が属する四半期の前四半期から当該補助事業の要綱・要領等に規定される事業実施主体等への成果報告等を行う月の属する四半期の前々四半期末までの期間に自ら取引した乳量に対して、継続して拠出金を拠出していることを要件とする。

（様式の取り扱い注意）

今回提示している様式は、「生乳需給安　定クロスコンプライアンスの運用等について」（令和７年２月28日付６畜産第3109号農林水産省畜産局長通知）の規定等を踏まえて作成したものであります。
今後、農林水産省から成果報告時に関する様式が公表され、一部修正が必要な場合は、それに応じて様式を提示しますので、よろしくお願いします。

別記様式

財　産　管　理　台　帳

団体名		事業実施年度	令和　年度	事業名	ＩＣＴ化等機械装置等導入事業

	事業の内容					工期		経費の配分					処分制限期間		処分の状況		摘要
	事業種目	対象者名	工種構造設置区分	施工箇所又は設置場所	事業量	着工年月日	竣工年月日	総事業費	負担区分				耐用年数	処分制限年月日	承認年月日	処分の内容	
									国庫補助金	都道府県費	市町村費	その他					
	計																
	計																
	合計																

（注）１　処分制限年月日欄には、処分制限の終期を記入する。
　　２　処分の内容欄には、譲渡、交換、貸付け、担保提供等を記入する。
　　３　摘要欄には、譲渡先、交換先、貸付け先及び抵当権等の設定権者の名称又は補助金返還額を記入。
　　４　この書式により難い場合には、処分制限期間欄及び処分の状況欄を含む他の書式をもって残産管理台帳に代えることができる。

（参考4）

事　業　名：　令和〇年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）
応援会議名：
経 営 体 名：
機械装置名：〇〇〇〇装置（型式：〇〇〇〇　製造番号：〇〇〇〇）

【　　】

写真張付け位置

【　　】

写真張付け位置

【　　】

写真張付け位置

【　　】

写真張付け位置

【　　】

写真張付け位置

【　　】

写真張付け位置

※【　】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）
例：【自走式配自車（正面）】、【型式：EF2630　製造番号：100234】、【ネックタグ（50個）】等

資料5

コメント・記載例について　目次

シートNo.	手続区分	作成・提出者	様式番号等	様式名称	区分	頁
経1	完了報告書関連	労働負担軽減経営体	事業完了報告　書提出書類確認表	リース方式での機械装置を導入した場合	コメント	61
					記載例	62
経3			別添13（第10の３の（1）関係）	事業完了報告書	記載例	63
経4			添付資料（別添13の２関係）	１　実施状況報告書（対象機械装置の導入報告）	コメント	64
					記載例	65
経5				２　本事業で導入した機械装置の詳細	記載例	66
経6			「みどりのチェック」チェックシート（畜産経営体向け）		記載例	67
会7	支払報告書関連	畜産ICT応援会議	支払請求書提出書類　確認表	（共通）	記載例	68
会8			別添14（第10の3の（2）関係）	支払請求書	記載例	69
					記載例	70
会9			別紙1（別添14添付用）	支払請求書の提出内訳	コメント	71
					記載例	72
会10			別紙2（別添14添付用）	事前検証状況	コメント	73
					記載例	74
会11			労働負担軽減経営体の「みどりチェック」チェックシートの一覧		記載例	75
会12	成果報告書関連	畜産ICT応援会議	別添10（第９の１関係）	事業成果報告書	記載例	76
会13			別添10－別紙1（第９の１関係）	成果報告	コメント	77
					記載例	78
会14			別添10－別紙2	導入機械装置管理状況報告（購入方式）	コメント	79
会15			生乳需給安定クロスコンプライアンスに係るチェックシート申請者一覧表		記載例	80

リース方式での機械装置を導入した場合

畜産ICT

令和　　年　　月　　日

応援会議に提出されたら、必ず記入して下さい

【畜産ICT事
労働負　　提出書類　確認表

提出書類が準備できたら、チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、
提出して下さい。

No	提出書類				確認欄
1	事業完了報告			1)関係))	□
	添付資料	リース方式			
2			①		□
3			②		□
4			③	柄、形式及	□
5			④		□
6			⑤		□
7			⑥		□
8			⑦		□
9	【確認事項】総			か	□
10	AI・データに関				□
	機械装置名		契約年月日		

- No1～No8の提出書類の準備ができた場合は、確認欄の☑(チェック)を行う。
- No9は、事前検証を行い、応援会議に報告している場合は、確認欄に☑(チェック)を行う。
- No10は、参加申請書提出時の確認表のNo6で「対象機械である」にチェックした経営体は必ず「対象機械名」「契約年月日」を記入し、確認欄に☑(チェック)を行う。
- これで、すべての確認欄に☑(チェック)ができましたら、完了報告書を提出して下さい。

必要な資料について、すべて確認表のチェックが終了しましたので、
完了報告書を提出します。

労働負担軽　　します。)

経営体の申請者が自ら必ず署名して下さい

リース方式での機械装置を導入した場合

記入例

畜産ICT応援会議に提出のあ　　令和　〇　年　12　月　21　日

【畜産ICT事業】
労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類　確認表

提出書類が準備できたら、チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、
提出して下さい。

No	提出書類			確認欄
1	事業完了報告書		（別添13(第10の3の(1)関係)）	☑
	添付資料	リース方式により機械装置を導入した場合		
2		① 貸付対象機械装置に係るリース契約書（写し）		☑
3		② 貸付機械装置に係る借受証（写し）		☑
4		③ 貸付対象機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、形式及び台数）		☑
5		④ 実施状況報告書（対象機械装置の導入報告）		☑
6		⑤ 納入当日の撮影した機械装置の全景写真		☑
7		⑥ 製造番号等の確認が可能な写真		☑
8		⑦ 「みどりチェック」チェックシート（畜産経営体向け）		☑
9	【確認事項】総労働時間の事前計測を行い、事前検証の結果を報告しましたか			☑
10	AI・データに関する契約ガイドラインに準拠した契約を行った			☑
	機械装置名	〇〇〇〇〇	契約年月日	202〇年12月15日

必要な資料について、すべて確認表のチェックが終了しましたので、
完了報告書を提出します。

労働負担軽減経営体名（直筆署名でお願いします。）　中畜　太郎

【提出にあたっての注意】
No10は、この内容のとおり対象機械名・契約年月日を記入せず、確認が行われていない場合は、農林水産省と相談し、対応が決定されるまで、完了確認ができませんので、よろしくお願いします。

別添13（第10の３の（１）関係）

所属する畜産ICT応援会議の名称、代表者の役職・氏名を記載

番　　号
令和〇年１２月３１日

神田ICT応援会議
会長　明神　太郎　殿

東都市外神田２－２－２
天神　三郎

令和〇年度ICT化等機械装置等導入事業　事業完了報告書

中央畜産会から畜産ICT応援会議に対する補助金の交付決定通知の年月日及び文書番号を記入して下さい。

令和〇年度において、令和〇年１０月１０日付け〇年度発中畜第１００２号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業実施要領（平成28年１月20日付け27生畜第1621号農林水産省生産局長通知）別紙８の第10の３の（１）の規定に基づき、下記のとおり報告する。

記

事業費：税込の事業費を記入
補助金：参加承認通知のあった補助金額
その他：事業費－補助金

１　事業の内容

対象機械装置名	数量	事業費	負担区分		備考
			補助金	その他	
ほ乳ロボット	1	5,500,000	2,500,000	3,000,000	
計		5,500,000	2,500,000	3,000,000	

計画承認された機械装置の内容ごとに記入して下さい。
計欄も記入して下さい。

２　添付資料
（１）リース方式により機械装置を導入
①　貸付対象機械装置に係るリース
②　貸付対象機械装置に係る借受書
③　貸付対象機械装置の詳細が分か
④　実施状況報告書（対象機械装置の導入報告）
⑤　納入当日に撮影した機械装置の全景写真
⑥　製造番号等の確認が可能な写真
⑦　「みどりチェック」チェックシート（畜産経営体向け）
（２）購入方式により機械装置を導入した場合
①　対象機械装置に係る購入に係る購入契約書（写し）
②　対象機械装置に係る購入に係る納入書（写し）、請求書（写し）
③　対象機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、型式及び
④　実施状況報告書（対象機械装置の導入報告）
⑤　納入当日に撮影した機械装置の全景写真
⑥　製造番号等の確認が可能な写真
⑦　「みどりチェック」チェックシート（畜産経営体向け）

３　その他
（１）　請求額　　金　　2,500,000

（２）　振込先金融機関名　秋野原農業協同組合
支店名　神田坂支店
預金の種別　普通
口座番号　０１２３７８９
預金の名義　カンダチュウチクリース

〇_労働負担軽減経営体が畜産ICT応援会議から交付金を受領する口座を記入。
〇_リース方式の場合、直接リース事業者に支払いを希望する場合は、リース事業者の指定する口座を記載。
〇_経営体に直接支払う場合は、「要望調査書」又は「参加申請書」に記載した経営主名（法人経営の場合は、法人名又は代表者名）と同じ名義の口座を記載すること。

添付資料様式（別添13の２関係）

対象機械装置の導入報告書

１　実施状況報告

畜産ICT応援会議名：　※所属する畜産ICT応援会議の名称を記入して下さい。		
労働負担軽減経営体名	組　織　名　：	※法人経営の場合、法人名（参加申請者名）を記入して下さい。
	代 表 者 名　：	※個人経営の場合：経営主（参加申請者名）を、法人経営の場合：代表者名を　記入して下さい。
リース事業者　　※１	会　社　名　：	※リース事業者名を記入して下さい。また購入方式の場合は記入しないで下さい。
対象機械装置の名称	※参加申請書（別添９－別紙１又は別添８－別紙１）と同じ内容で、参加承認通知のあった機械装置の種類ごとに入力に記入して下さい。 ・搾乳ロボット ・ミルキングパーラー ・搾乳ユニット搬送レール自動 ・搾乳ユニット搬送レール手動 ・ミルカー自動離脱装置 ・自動乳頭洗浄機 ・「自動給餌機（濃厚飼料）」 ・「自動給餌機（濃厚・粗飼料）」 ・「ほ乳ロボット」 ・「餌寄せロボット」 ・「自走式配餌車」 ・「移動式ほ乳機」 ・「稲わら細断機」 ・「発情発見装置」 ・「分娩監視装置」 ・「行動監視装置（繁殖管理）」 ・「行動監視装置（肥育管理）」 ・「行動監視装置（放牧管理）」 ・バーンスクレーパー ・敷料散布機	
製造メーカー名	※参加申請書（別添９－別紙１又は別添８－別紙１）と同じ内容	
型　式	※参加申請書（別添９－別紙１又は別添８－別紙１）と同じ内容	
機械装置製造番号	※機械装置本体の製造番号（又はシリアルナンバー）は複数の場合であっても必ず記入して下さい。 もし、販売事業者に確認しても当該番号がない場合は、「なし（販売事業者確認済み）」と必ず記入して下さい。	
販売事業者等の名称　※２	※参加申請書（別添９－別紙１又は別添８－別紙１）と同じ内容	
対象機械装置の納入年月日	※購入方式の場合は、納入年月日を記入して下さい。 リース方式の場合は、借受書の検査完了年月日又は検収日を記入して下さい。	
貸付番号　　※３	※機械の契約番号、リース番号又は貸付番号を記入して下さい。	
導入場所	※参加申請書（別添９－別紙１又は別添８－別紙１）と同じ内容	
所見　申請内容と相違ないか		
所見　カタログどおりか		
所見　新品であるか		
所見　試運転の結果どうか		
所見　業者から取扱説明を受けたか		
備考		

「事業完了報告書」、「支払請求書」の提出に当たっての留意点のⅠの2の(2)の(D)の1の⑩に記入に当たっての留意事項を整理してあります。(6頁参照)

※１購入方式の場合は、機械装置の販売事業者名を記載。

※２リース方式の場合はリース会社へ当該機械装置を販売した事業者名を記載、
　　購入方式の場合は記載しない。

※３購入方式の場合は、記載しない。

添付資料様式（別添13の２関係）

対象機械装置の導入報告書

１　実施状況報告

畜産ICT応援会議名：神田ICT応援会議				
労働負担軽減経営体名	組　織　名　：			
	代 表 者 名 ：	天神　三郎		
リース事業者　　※１	会　社　名　：	○△リース株式会社		
対象機械装置の名称		搾乳ユニット搬送 レール自動搬送	自動給餌機 （濃厚・粗飼料）	
製造メーカー名		オリオン機械（株）	オリオン機械（株）	
型　式		UCA30A	FMA16	
機械装置製造番号		99589	556645545	
販売事業者等の名称 ※２		中部オリオン（株）	（株）チュウチク	
対象機械装置の納入年月日		令和○年12月5日	令和○年12月5日	
貸付番号　　※３		○△H55-55	○△H55-56	
導入場所		○県●●町●松55	○県●●町●松55	
所見	申請内容と相違ないか	相異なし	相異なし	
	カタログどおりか	カタログどおり	カタログどおり	
	新品であるか	新品	新品	
	試運転の結果どうか	良好	良好	
	業者から取扱説明を受けたか	受けた	受けた	
備考				

添付資料様式（別添13の2関係）

参加申請書別紙1の「補助対象機械装置の詳細（参加申請）」を参考に、作成して下さい。

2　本事業で導入した機械装置の詳細

Ｎｏ ※１	本体・付属機器別区分 ※３	新品・中古の区分 ※４	機械装置の種類 ※２※５	法定耐用年数 ※６	型式 ※７	製造番号 ※８	販　売業者名	数量	機械価格（税抜）	機械価格（税込）	補助金額
1	本体	1	搾乳ユニット搬送レール自動搬送	7	UCA30A	99589	中部オリオン(株)	1			
	付属機器	1	乳量計付自動離脱装置	7	MMD500	56-5481, 56-5482, 56-5483, 56-5484, 56-5485, 56-5486, 56-5487, 56-5488,	中部オリオン(株)	8			
	付属機器	1	パイプラインミルカー	7	PMH64SJ	P656345	中部オリオン(株)	1			
	小計								14,000,000	15,400,000	7,000,000
2	本体	1	自動給餌機(濃厚・粗飼料)	7	FMA16	556645545	(株)チュウチク	1			
	付属機器	1	サイレージエレベーター	7	FC95	55-55-HH	(株)チュウチク	1			
	付属機器	1	定置式ミキサー	7	5150ST	545454	(株)チュウチク	1			
	小計								10,000,000	11,000,000	5,000,000

・No.は、1の対象機械装置の名称ごとに記入して下さい。

・複数台導入の場合は、「，」でつないで併記して記入して下さい。
・また、数量が多い場合は、「別紙」と記入し、別紙で製造番号リストを整理した資料を添付して下さい。

「みどりチェック」 チェックシート（畜産経営体向け）

事業名	ICT化等機械装置等導入事業	完了報告時は右側の「報告時」欄にチェックして提出して下さい	Ver. 3.1
組織名			
代表者氏名	明神　太郎		↓該当する方に○
住所	東都市外神田２－２－２		申請時（します）
連絡先	03-1234-5678		報告時（しました） ○

解説書

・交付申請時に、全ての項目にチェックを入れ、事業実施期間中に各項目の内容に取り組んでください。

・実績報告時に、取り組んだ項目にチェックをして提出してください。

・各項目において、どのような取組を行えばよいか分からない場合は、解説書をご覧ください。

・※の記載内容に「該当しない」場合は□にチェックしてください。

チェック		
	環境関係法令の遵守等	
☑	①	みどりの食料システム戦略の理解
☑	②	関係法令の遵守
☑	③	GAP・HACCPについて可能な取組から実践
☑	④	アニマルウェルフェアの考えに基づいた飼養管理の考え方を認識している
☑	⑤	正しい知識に基づく作業安全に努める
☑	⑥	※和牛生産を行っている場合（該当しない　□） 家畜改良増殖法及び家畜遺伝資源に係る不正競争防止に関する法律の遵守
	悪臭及び害虫の発生防止	
☑	⑦	悪臭・害虫の発生防止・低減に努める
☑	⑧	※飼養頭数が一定規模以上の場合（該当しない　□ 家畜排せつ物の管理基準の遵守
	適正な施肥	
☑	⑨	※飼料生産を行う場合（該当しない　□） 肥料の適正な保管
☑	⑩	※飼料生産を行う場合（該当しない　□ 肥料の使用状況等の記録・保存に努める
	適正な防除	
☑	⑪	※飼料生産を行う場合（該当しない　□ 病害虫・雑草が発生しにくい生産条件の整備を検討
☑	⑫	※飼料生産を行う場合（該当しない　□ 農薬の適正な使用・保管
☑	⑬	※飼料生産を行う場合（該当しない　□） 農薬の使用状況等の記録・保存
	エネルギーの節減	
☑	⑭	畜舎内の照明、温度管理等施設・機械等の使用や導入に際して、不必要・非効率なエネルギー消費をしないように努める
	廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分、生物多様性への悪影響の防止	
☑	⑮	プラ等廃棄物の削減に努め、適正に処理
☑	⑯	※特定事業場である場合（該当しない　□） 排水処理に係る水質汚濁防止法の遵守

②関係法令の遵守について、対象は、肥料の品質の確保等に関する法律（昭和25年法律第127号）、農薬取締法（昭和23年法律第82号）、家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律（平成11年法律第112号）、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）、食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律（平成12年法律第116号）、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（平成７年法律第112号）、水質汚濁防止法（昭和45年法律第138号）、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）とする。

＜報告内容の確認と個人情報の取り扱いについて＞

・本チェックシートにて報告された内容については、農林水産省等が対象者を抽出し、実施状況の確認を行います。

・記入いただいた個人情報については、本チェックシートの実施状況確認のために農林水産省等で使用し、ご本人の同意がなければ第三者に提供することはありません。

上記について、確認しました →　☑

【畜産ICT事業】 **記入例**

提出年月日（道府県協会提期限3月15日）　令和○年　○月　○日

畜産ICT事業　支払請求書　提出書類　確認表

提出書類が準備できたら、チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、提出して下さい。

No	提　出　書　類	チェック欄
1	支払請求書　（別添14）	☑
2	支払請求書の提出内訳　別紙1（別添14添付用）	☑
3	事前検証状況　別紙2（別添14添付用）	☑
4	労働負担軽減経営体の「みどりチェック」チェックシートの一覧	☑
5	事業完了報告書（写し）　（別添13）※添付資料を含む。 完了経営体数　：　○戸数【支払請求書の（注）の3の（3）】	☑

必要な資料がすべて準備でき、確認表のチェックが終了しましたので、実施計画書の承認申請書を提出します。

○○○○応援会議

振込先が畜産ICT応援会議で１カ所の場合

別添14（第10の３の（２）関係）

番　　号
令和〇年１２月３１日

公益社団法人中央畜産会会長　　殿

（畜産ICT応援会議）
東京県東都市外神田１－１－１
神田ICT応援会議
会長　明神　太郎

令和〇年度ICT化等機械装置等導入事業　支払請求書

・中央畜産会から楽酪応援会議に対する補助金の交付決定通知の年月日及び文書番号を記入して下さい。
・また、補助金の変更や追加交付決定を受けている場合は、事例のように、及びにより併記して記入して下さい。

令和〇年度において、令和〇年１０月１０日付け〇年度発中畜第１００２号及び令和〇年１２月３１日付け〇年度発中畜第２３４５号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業実施要領（平成28年１月20日付27生畜第1621号農林水産省生産局長通知）別紙８の第10の３の（２）の規定に基づき、下記のとおり請求する。

記

1　請求額　　金　　2,500,000　　円

今回請求分で金額をあわせる

区　　分	総事業費	国庫補助金	その他	備考
機械装置導入事業	5,500,000	2,500,000	3,000,000	労働負担軽減経営体：１戸
計	5,500,000	2,500,000	3,000,000	

備考欄に請求対象の労働負担軽減経営体戸数を記載

2　振込先
金融機関名　千代田銀行
支店名　外神田支店
預金の種別　普通
口座番号　6206084
預金の名義　チュウチクリース

振込先が畜産ICT応援会議で２カ所以上の場合

別添14（第10の３の（２）関係）

番　　号
令和〇年１２月３１日

公益社団法人中央畜産会会長　　殿

（畜産ICT応援会議）
東京県東都市外神田１－１－１
神田ICT応援会議
会長　明神　太郎

令和〇年度ICT化等機械装置等導入事業　支払請求書

・中央畜産会から楽酪応援会議に対する補助金の交付決定通知の年月日及び文書番号を記入して下さい。
・また、補助金の変更や追加交付決定を受けている場合は、事例のように、及びにより併記して記入して下さい。

令和〇年度において、令和〇年１０月１０日付け〇年度発中畜第１００２号及び令和〇年１２月３１日付け〇年度発中畜第２３４５号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業実施要領（平成28年１月20日付27生畜第1621号農林水産省生産局長通知）別紙８の第10の３の（２）の規定に基づき、下記のとおり請求する。

記

1　請求額　　金　　2,500,000　　円

今回請求分で金額をあわせる

区　分	総事業費	国庫補助金	その他	備考
機械装置導入事業	5,500,000	2,500,000	3,000,000	労働負担軽減経営体：１戸
計	5,500,000	2,500,000	3,000,000	

備考欄に請求対象の労働負担軽減経営体戸数を記載

2　振込先
金融機関名
支店名
預金の種別
口座番号
預金の名義

別紙１のとおり

下の請求内容の振込先欄は、畜産ICT応援会議で１カ所の場合、次のように記入してください。

別紙１（別添14添付用）

この欄は、交付決定額について記載して下さい。
なお、総事業費は、税込み金額です。

この欄は、下段の機械装置導入事業の請求内容のそれぞれの金額を記入して下さい。

畜産ICT応援会議名：

○交付決定

区　分	総事業費	補助金	既請求分		今回請求分		残額	
			総事業費	補助金	総事業費	補助金	総事業費	補助金
機械装置導入事業								
計								

複数回分けて報告する場合、事業実施状況報告の提出回次ごとに記入

○機械装置導入事業の請求内訳

経営体No ※1	労働負担軽減経営体名	機械装置		事業費全体			導入方式 ※3	支払先 ※4	振込先					備考 ※5		
		機械装置名 ※2	数量	事業費（税抜）	事業費（税込）	補助金			金融機関名	支店名	預金の種別	口座番号	預金の名義	既請求分対象者	今回請求分対象者	残額対象者
									支払請求書のとおり							
									同上							
									同上							
	計															

参加承認された労働負担軽減経営体は全て記入して下さい。

振込先が1カ所の場合は、複数の経営体であっても左記のとおり記入してください。

下の請求内容の振込先欄は、畜産ICT応援会議で２カ所以上の場合は、次のように記入してください。

別紙１（別添14添付用）

支払請求書の提出内訳

畜産ICT応援会議名：神田ICT応援会議

○交付決定

区　分	総事業費	補助金	既請求分		今回請求分		残額	
			総事業費	補助金	総事業費	補助金	総事業費	
機械装置導入事業	62,700,000	28,500,000			62,700,000	28,500,000	0	
計	62,700,000	28,500,000			62,700,000	28,500,000	0	

○　支払先は、機械装置がリース契約の場合はリース事業者、購入の場合は畜産ICT応援会議になります。

○　1つの経営体では、支払先が1カ所のリース事業でありますが、複数の経営体の場合は、それぞれの支払先が異なることもありますので、それぞれの振込先の項目を記載して下さい。

○機械装置導入事業の請求内訳

経営体No ※1	労働負担軽減経営体名	機械装置		事業費全体			導入方式 ※3	支払先 ※4	振込先						備考 ※5		
		機械装置名 ※2	数量	事業費（税抜）	事業費（税込）	補助金			金融機関名	支店名	預金の種　別	口座番号	預金の名義	既請求分対象者	今　回請求分対象者	残　額対象者
1	中畜　太郎	搾乳ロボット	1	25,000,000	27,500,000	12,500,000	リース	リース事業者	あかさ銀行	あかさ本店	普通	1234567	ｱｶｻﾘｰｽ		○	
		ほ乳ロボット	1	3,000,000	3,300,000	1,500,000			あかさ銀行	あかさ本店	普通	1234567	ｱｶｻﾘｰｽ			
2	酪農　一	ほ乳ロボット	1	5,000,000	5,500,000	2,500,000	リース	リース事業者	さきたま銀行	搾支店	普通	99999999	ｶ）ｻｸﾆｭｳｼｴﾝﾘｰｽ		○	
3	天神　三郎	搾乳ユニット搬送レール自動	1	14,000,000	15,400,000	7,000,000	リース	リース事業者	あかさ銀行	あかさ本店	普通	1234567	ｱｶｻﾘｰｽ		○	
		自動給餌機（濃厚・粗飼料）	1	10,000,000	11,000,000	5,000,000			さきたま銀行	搾支店	普通	99999999	ｶ）ｻｸﾆｭｳｼｴﾝﾘｰｽ			
	計			57,000,000	62,700,000	28,500,000										

別紙２（別添14添付用）

事前検証状況

「労働負担軽減事業における成果検証の考え方について（参考5）」に基づき、事前計測を行った結果を記入し、提出していただきます。

畜産ICT応援会議名：

No	労働負担軽減経営体（又は構成員）の名称（注１）	労働負担軽減経営体（又は構成員）の所在地	導入機械装置			検証における確認成果等							検証方法	備考（注５）
			機械装置名	数量	機械価格（円、税抜）	機械導入前			機械導入後			１日あたり総労働時間の削減率（注４）		
						経産牛頭数	労働者数（注２）	１日当たり総労働時間（注３）	経産牛頭数	労働者数	１日当たり総労働時間			

事業参加承認通知された労働負担軽減経営体を全て記載して下さい。
※ 実施計画における成果目標の設定で、他の構成員も含めた目標を設定している場合は、その構成員も記載して下さい。

参加承認通知された補助対象機械装置ごとに記載して下さい。
※ 左欄で労働負担軽減経営体以外の構成員を記載している場合は、当該欄の記載は不要です。

注2に基づき記入して下さい。

「１日当たり総労働時間」の欄に、年間総労働時間を記入したり、導入機械装置対応労働時間を記入してくる例がありますので、注意して記入して下さい。

１日当たり総労働時間
＝年間総労働時間÷365日

備考欄には、労働負担軽減経営者の請求状況を記入して下さい。

（注１）時間 減経営体とされている場合は CT応援会議全体とされている。

（注２）労働者数については、フルタイム労働者を１とし、パートタイム等については勤務時間の長さによって０～１の間の小数（第１位まで）を記入する。

（注３）労働時間は、導入した機械に関係する分野の労働だけではなく、飼料生産等も含めた酪農に関する全ての労働にかかる時間を記入する。

（注４）１日当たりの総労働時間削減率＝１－（機械導入後の１日あたり総労働時間÷機械導入前の１日あたり総労働時間）

（注５）畜産ICT応援会議の中で、労働負担軽減経営体ごとに支払請求書が提出される場合には、備考欄に、労働負担軽減経営体の支払請求状況（今回請求分・既請求済分）を記入して下さい。

別紙２（別添14添付用）

記入例

事前検証状況

畜産ICT応援会議名：神田ICT応援会議

No	労働負担軽減経営体（又は構成員）の名称（注１）	労働負担軽減経営体（又は構成員）の所在地	導入機械装置			検証における確認成果等							検証方法	備考（注５）
						機械導入前			機械導入後			１日あたり総労働時間の削減率（注４）		
			機械装置名	数量	機械価格（円、税抜）	経産牛頭数	労働者数（注２）	１日当たり総労働時間（注３）	経産牛頭数	労働者数	１日当たり総労働時間			
1	中畜　太郎	東京県中央市畜33	搾乳ロボット	1	25,000,000	60	3.4	20.5						今回請求対象者
			哺乳ロボット	1	3,000,000									
2	酪農　一	東京県東京郡さきたま町搾111	哺乳ロボット	1	5,000,000	60	3.4	20.5						既請求分対象者
3	天神　三郎	東京県東都市外神田２－２－２	搾乳ユニット搬送レール自動	1	14,000,000	72	4	24.1						今回請求対象者
			自動給餌機（濃厚・粗飼料）	1	10,000,000									
	会議計							65.1						

【添付資料】

労働負担軽減経営体の「みどりチェック」チェックシートの一覧

畜産ICT（楽酪）楽酪応援会議	中央畜産楽酪応援会議
住所（都道府県）名	東京県

No.	労働負担軽減経営体名	住所（都道府県）名	備考
1	外神田太郎	東京都	
2	秋葉原花子	東京都	

別邸10（第９の１関係）

番　　号
年　月　日

畜産ICT応援会議の名称が変更になった場合は、団体名を二段書きとし、上段に現在の団体名を、下段に括弧書きで記入して下さい。所在地及び代表者の役職及び氏名は現在の団体のものを記入して下さい。

（畜産ＩＣＴ応援会議）
所在地
団体名
代表者の役職及び氏名

令和○年度ＩＣＴ化等機械装置等導入事業
事業成果報告書

令和　年　月　日付け７年度発中畜第　　号で交付決定通知のあったＩＣＴ化等機械装置等導入事業について、畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業実施要領（平成28年１月20日付27生畜第1621号農林水産省生産局長通知）別紙８の第９の１の規定に基づき別紙（対象となる別紙の番号を記入）の「令和　　年度ＩＣＴ化等機械装置等導入事業成果報告」を別添のとおり報告します。

下段にあります【添付書類】が、
・リース方式により導入した場合は、
「別紙１」と記入し、
・購入方式により導入した場合は、
「別紙１と別紙２」と記入して下さい。

【添付書類】

（Ｉ）対象機械装置の導入
・別添10 － 別紙１

（Ｉ）対象機械装置の導入
・別添10 － 別紙１
・別添10 － 別紙２

（２）生乳需給安定クロスコンプライアンスに係るチェックシート申請者一覧表

同年度に畜産ＩＣＴ事業と楽酪ＧＯ事業を実施している場合は、「畜産ＩＣＴ事業事業成果報告書」と「楽酪ＧＯ事業事業成果報告書」と両事業併せて提出して下さい。

別添10－別紙１（第９の１関係）

令和　年度　ICT化等機械装置等導入事業成果報告

畜産ICT応援会議名：

No	労働負担軽減経営体（又は構成員）の名称	労働負担軽減経営体（又は構成員）の所在地	導入機械装置			検証における確認成果等							検証方法	備考
			機械装置名	数量	機械価格（円、税抜）	機械導入前			機械導入後			１日当たり総労働時間の削減率		
						経産牛頭数	労働者数	１日当たり総労働時間	経産牛頭数	労働者数	１日当たり総労働時間			
	会議計													

この労働負担軽減経営体は、当該年度において別添１４支払請求書の別紙２の事前検証状況で事前計測結果を報告した全ての労働負担軽減経営体を記入し、本様式の該当する全ての項目について記入してください。

「１日当たり総労働時間」の欄に、年間総労働時間を記入したり、導入機械装置対応労働時間を記入し報告してくる応援会議がありますので、注意して記入・報告して下さい。

１日当たり総労働時間
＝年間総労働時間÷365日

（注１）　成果目標において、労働時間削減の対象が労働負担軽減経営体とされている場合は労働負担軽減経営体のみを、畜産ICT応援会議全体とされている場合は全構成員を記入する。

（注２）　労働者数については、フルタイム労働者を１とし、パートタイム等については勤務時間の長さによって０～１の間の小数（第１位まで）を記入する。

（注３）　１日当たりの総労働時間削減率＝１－（機械導入後の１日あたり総労働時間÷機械導入前の１日あたり総労働時間）

令和　年度　ICT化等機械装置等導入事業成果報告

畜産ICT応援会議名：神田ICT応援会議

No	労働負担軽減経営体（又は構成員）の名称	労働負担軽減経営体（又は構成員）の所在地	導入機械装置			検証における確認成果等							検証方法	備考
			機械装置名	数量	機械価格（円、税抜）	機械導入前			機械導入後			1日当たり総労働時間の削減率		
						経産牛頭数	労働者数	1日当たり総労働時間	経産牛頭数	労働者数	1日当たり総労働時間			
1	中畜　太郎	東京県中央市畜33	搾乳ロボット	1	25,000,000	60	3.4	20.5	80	2	15.3	25.0%	作業日誌等により検証	ICT
			哺乳ロボット	1	3,000,000									
2	酪農　一	東京県東京郡さきたま町搾111	哺乳ロボット	1	5,000,000	60	3.4	20.5	62	2.5	20.4	0.0%	作業日誌等により検証	ICT
3	天神　三郎	東京県東都市外神田２－２－２	搾乳ユニット搬送レール自動	1	14,000,000	72	4.0	24.1	78	3.5	22.5	6.0%	作業日誌等により検証	ICT
			自動給餌機（濃厚・粗飼料）	1	10,000,000									
	会							65.1			58.2	10.6%		

「１日当たり総労働時間の削減率」の表示にあたって、小数点２位以下を切り捨てて、小数点第１位以上の数値を報告してください。
これは、成果目標値が１０%以上となっておりますので、１０%未満の「９．９９・・%」である場合は、成果目標を達成していないことになります。ご注意願います。

別添10－別紙２

（元号）　年度ICT化等機械装置等導入事業　導入機械装置管理状況報告（購入方式）

別紙１の成果報告の労働負担軽減経営体が購入方式により機械装置の導入を行っていた場合はこの導入管理状況報告を記入し提出してください。

畜産ICT応援会議名：

No	労働負担軽減経営体（管理主体）	機械装置の管理（設置）所在地	導入機械装置			処分制限期間			管理状況		
			機械装置等名	数量	機械価格（円、税抜）	導入年月日	法定耐用年数	処分制限年月日	稼働時間（一日当たり）	稼働日数（一月・一年当たり）	確認年月

導入した機械装置が年間利用している機械装置の場合は、１月（30日）当たりの稼働時間を記入してください。

※１財産管理台帳から必要事項を記載。

※２管理状況は、畜産ICT応援会議が確認した直近の状況を記載。

☑ ICT化等機械装置等導入事業（畜産ＩＣＴ事業）
□ 酪農経営支援総合対策事業（楽酪GO事業）

共通様式(成果時)

「生乳需給安定クロスコンプライアンスに係るチェックシート」申請者一覧

畜産ＩＣＴ/楽酪応援会議名：神田楽酪応援会議

申請者No.	1　申請者（酪農経営体）の情報							2　生産した生乳の取引先（注１）	3　確認事項への同意（注２）
	申　請 年月日	牛の個体識別システム 農家コード (10桁)	生産者氏名 (法人の場合は会社名)	郵便番号	住所	経産牛頭数 (頭)	対象月の全取引乳量 (kg)		
1	R○.○.○	1234567890	農林太郎	100-8950	東京都千代田町	60	50,000	コ	○

労働負担軽減経営体から提出のありましたチェックシートの内容を、注の１及び２をふまえ、転記してください。

（注１）　チェックシートの２のでコ、サ、スでチェックしているものを記入してください。
（注２）　チェックシート３のセ及びソの両方ともチェックされている場合は「○」とし、それ以外の場合はバツと記入してください。

（参考５）

ICT 化等機械装置等導入事業における成果検証の考え方について

本事業における成果目標の設定に当たっては、全国的に統一的な手法として、「削減が期待される年間労働時間の考え方」により試算された各労働負担軽減経営体の削減労働時間を使用し、応援会議全体として削減目標を作成していただいております。

なお、応援会議は、労働時間の削減率（10%以上低減）を目標設定することとされています。

一方、成果報告に当たっては、実際の削減効果を測る必要があることから、実施計画に記載された経営体の実態を個別に検証する必要があります。

１　検証の対象

本事業では、削減効果を確認するため、労働負担軽減経営体における事業実施前後の労働時間（１人あたりの年間労働時間）を検証していただきます。

なお、検証は労働負担軽減経営体における総労働時間となります。

２　検証にあたっての留意点

（１）検証方法

①　具体的な労働時間の測定方法については、各応援会議において任意としますが、以下のような方法が考えられます。

- ○　作業日誌等を用いた労働負担軽減経営体自身の記録記帳に基づく検証
- ○　多数の従業員が、分業制、シフト勤務制、定時の休憩時間制などにより勤務している場合に、タイムカード等の勤怠管理資料による検証
- ○　地域の支援機関、外部コンサルタントなど活用した第三者による調査

②　検証方法は①に限るものではありませんが、第三者に対し、測定方法の客観性や妥当性が説明できる方法としてください。また、どのような検証を行う場合においても、各応援会議内において、原則、統一的な検証方法として下さい。

（２）検証時期・期間

①　検証時期（機械装置導入後の労働時間の測定時期）は各応援会議における任意としますが、事業実施前後の比較が可能なよう、機械装置導入前の測定時期と翌年同時期に行って下さい。

②　測定期間は、導入する機械装置の種類・機能、さらには飼養頭数などを考慮し設定することとし、一定期間（１週間以上）、作業日誌等を記録してください。

また、分娩監視装置や発情発見装置の効果検証は、１週間の記録では不十分な場合もあるため、監視対象となる牛が複数頭現れる期間の労働時間を継続して測定する、又は、１頭当たりの監視に要する時間を計測し、年間の監視時間を推定する等により、装置の導入効果を検証してください。

（３）検証記録の保管

成果の検証に用いた作業日誌等資料については、応援会議において保管して下さい。

なお、保管期間は、「帳簿等の整備保管等」において示されている期間と同期間保管して下さい。

３　（参考）作業日誌を用いた検証方法の例

以下に、労働負担軽減経営体自身の記録記帳に基づく調査方法の例を示します。（なお、あくまでもこの調査方法は例示であり、実際の調査方法についてはこの限りではありません）

方法１　作業日誌（日報方式）を活用した検証方法の例

（１）概要

あらかじめ連続した測定期間（○日間）を決め、１日当たり１枚の作業日誌（日報方式）に記録記帳。測定した日数（記録記帳した日誌の枚数）分の労働時間から１日当たり標準労働時間を算出し、年間総労働時間を推定する。

（２）様式例

作業日誌Ａ（日報方式：例）

（３）作業日誌の記録方法【様式例：作業日誌Ａ（日報方式）】

①　経営体名、測定期間（○月○日～○月○日）、従事者名等を入力

②　①について、測定日数分の枚数をコピー。

③　測定日ごとに、作業内容毎に労働時間帯を記録（網掛け）し、１日当たりの作業時間を記入。

④　１日の終了時に、１日当たり労働時間の計を算出。

（４）年間労働時間の推定

①　測定期間の労働時間＝記録記帳した作業日誌（日報方式）の労働時間の和

②　１日当たり標準労働時間＝①÷測定日数（日報の枚数）

③　年間総労働時間＝②×３６５日

方法２　作業日誌（月報方式）を活用した検証方法の例

（１）概要

あらかじめ検証月を決め、作業区分ごとに測定した日のみ作業時間を記録記帳。これを基に１日当たり標準労働時間を算出し、年間総労働時間を推定する。

（２）様式例

作業日誌Ｂ（月報方式：例）

（３）作業日誌の記録方法

①　測定年月（○年○月）、作業区分毎の従事者名を入力。

②　作業区分毎に測定日を決め、その測定日に作業区分かつ作業者の時間を入力。

③　集計欄を用いて、１日当たり標準労働時間を計算。

（４）年間労働時間の推定

年間総労働時間

＝作業日報（月報方式）に基づく１日当たり標準労働時間×３６５日

４　事業成果報告の提出

実施要領別紙９の第９の１の（１）に基づき、応援会議は、事業実施翌年度に検証した結果を、事業実施の翌々年度の６月末までに、事業実施主体に報告することとなっています。

具体的には、**事業実施年度の支払請求書に添付書類別紙２（別添14添付用）「事前検証状況」の機械導入前の検証値**が、事業実施翌年度の機械導入後の検証値を記入し、1日当たり総労働時間の削減率を確認し、その成果を確認するものであります。

作 業 日 誌 A（日報方式:例）

経営体名 [　　]　　測定期間 [○○年○○月○○日 ～ ○○月○○日]　　測定年月日 [○○年○○月○○日]

作業者名	雇用区分 ※該当に○	作業区分	1日あたり労働時間		時刻 ※労働時間帯に網掛けする																	備考
			時間	分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
	家族・常雇・臨時雇	搾乳																						
		飼料給与																						
		家畜飼養管理																						
		飼料生産																						
		ふん尿処理																						
		その他																						
		小計																						
	家族・常雇・臨時雇	搾乳																						
		飼料給与																						
		家畜飼養管理																						
		飼料生産																						
		ふん尿処理																						
		その他																						
		小計																						
	家族・常雇・臨時雇	搾乳																						
		飼料給与																						
		家畜飼養管理																						
		飼料生産																						
		ふん尿処理																						
		その他																						
		小計																						
	家族・常雇・臨時雇	搾乳																						
		飼料給与																						
		家畜飼養管理																						
		飼料生産																						
		ふん尿処理																						
		その他																						
		小計																						
	家族・常雇・臨時雇	搾乳																						
		飼料給与																						
		家畜飼養管理																						
		飼料生産																						
		ふん尿処理																						
		その他																						
		小計																						
	家族・常雇・臨時雇	搾乳																						
		飼料給与																						
		家畜飼養管理																						
		飼料生産																						
		ふん尿処理																						
		その他																						
		小計																						
計		搾乳																						
		飼料給与																						
		家畜飼養管理																						
		飼料生産																						
		ふん尿処理																						
		その他																						
		小計																						

作 業 日 誌 B（月報方式:例）

経営体名 [　　]　　測定年月 [△△年△△月]

作業区分	作業者名	雇用区分 ※該当に○	測定日 ※測定した日に時間を10進法で記入（3時間30分の場合⇒3.5と入力）																													集計欄			備考
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	測定日数 日	測定労働時間計 時間	1日あたり標準労働時間 時間	
搾乳		家族・常雇・臨時雇																																0	0.0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	#DIV/0!	
飼料給与		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	#DIV/0!	
家畜飼養管理		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	#DIV/0!	
飼料生産		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	#DIV/0!	
ふん尿処理		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	#DIV/0!	
その他		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
		家族・常雇・臨時雇																																0	0		
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0		
計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	#DIV/0!	